

令和6年10月入学

令和7年4月入学

奈良女子大学大学院

人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

学生募集要項

〔一般選抜〕

〔社会人特別選抜〕

〔外国人留学生特別選抜〕

〔推薦選抜〕

[注] 以下に該当する者は、それぞれの者を対象とする
学生募集要項により出願してください。

- ①奈良女子大学の学部・大学院6年一貫教育プログラム
に選抜された者
- ②生活工学共同専攻を志願する者

令和6年4月

奈良女子大学大学院

人間文化総合科学研究科

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL 0742-20-3023(入試課)

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

別冊子について

①奈良女子大学の学部・大学院6年一貫教育プログラムに選抜された者

奈良女子大学を令和7年3月卒業見込みで、奈良女子大学の学部・大学院6年一貫教育プログラムに選抜された者には、「令和7年度奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）学生募集要項6年一貫教育プログラム特別選抜」を入試課窓口にて配布します。郵送を希望する場合は、入試課にお問い合わせください。

②生活工学共同専攻を志願する者（上記①に該当する者を除く）

「令和6（2024）年10月入学 令和7（2025）年4月入学 お茶の水女子大学大学院・奈良女子大学大学院 生活工学共同専攻（博士前期課程・博士後期課程）学生募集要項」を入試課窓口にて配布します。郵送を希望する場合は、本学ホームページ「入試・入学情報」の資料請求（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi4.html>）からご請求ください。

なお、募集要項の発行は令和6年5月下旬頃の予定です。

目 次

I	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科アドミッション・ポリシー	1～14
II	募集人員・出願期間・試験期日等	15～20
	1. 募集人員(15)	
	2. 出願期間・試験期日・合格発表日等(16～17)	
	①出願について(18)	
	②選考方法について(18)	
	③合格発表について(18)	
	④入学料及び授業料について(18～19)	
	⑤入学手続について(19)	
	⑥長期履修学生制度について(19)	
	⑦出願の前に相談や手続が必要な場合について(19～20)	
	⑧学生募集及び指導希望教員の問い合わせ先について(20)	
III	博士前期課程の目的及び修了要件等	21
	1. 目的	4. 進学
	2. 標準修業年限	5. 博士前期課程修了者が取得できる学位
	3. 修了要件	
IV	出願資格	22～28
	【一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜・推薦選抜】	
	1. 一般選抜(22～24)	3. 外国人留学生特別選抜(25～26)
	2. 社会人特別選抜(24～25)	4. 推薦選抜(26～28)
V	出願書類・試験科目等(専攻・選抜別)	29～55
	【人文社会学専攻/言語文化学専攻/人間科学専攻】	
	①一般選抜(29～31), ②社会人特別選抜(31～32), ③外国人留学生特別選抜(33～34)	
	【食物栄養学専攻/心身健康学専攻/情報衣環境学専攻/住環境学専攻/生活文化学専攻】	
	①一般選抜(35～37), ②社会人特別選抜(37～40), ③外国人留学生特別選抜(40～42)	
	④推薦選抜(43)	
	【数物科学専攻/化学生物環境学専攻】	
	①一般選抜(44～46), ②社会人特別選抜(47～49), ③外国人留学生特別選抜(50～52)	
	④推薦選抜(53～55)	
VI	博士前期課程各専攻の担当教員等	56～63
	【人文社会学専攻/言語文化学専攻/人間科学専攻】(56)	
	【食物栄養学専攻/心身健康学専攻/情報衣環境学専攻/住環境学専攻/生活文化学専攻】	
	①入学志願票の「志望研究領域」欄の記入について(57)	
	②「専門科目」の受験について(58)	
	【数物科学専攻/化学生物環境学専攻】(59～63)	
	[本学所定の用紙]	
	入学志願票	
	・人文社会学専攻, 言語文化学専攻, 人間科学専攻	
	令和6年10月入学受験用・令和7年4月入学受験用	
	・食物栄養学専攻, 心身健康学専攻, 情報衣環境学専攻, 住環境学専攻, 生活文化学専攻	
	令和6年10月入学受験用・令和7年4月入学受験用	
	・数物科学専攻, 化学生物環境学専攻	
	令和6年10月入学受験用・令和7年4月入学受験用	
	検定料納付確認書・受験票・写真票	
	令和6年10月入学受験用	
	令和7年4月入学受験用	
	検定料払込用紙	
	宛名票	
	令和6年10月入学受験用	
	令和7年4月入学受験用	

I 奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科アドミッション・ポリシー

奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科は、個々の学問領域における専門的な教育研究を推進するとともに、それを基盤として新たに学際的な教育研究を創出することによって、個性豊かで自立した研究者や高度な専門職業人を育成することを目指しています。そして、このような分野から女性リーダーを輩出することによって、男女共同参画社会の実現や国際社会に貢献したいと考えています。

以上のような理念に基づき、次のような人を、国内外から広く受け入れます。

- ・ 学士課程あるいは修士課程・博士前期課程や社会人経験などを通して、大学院教育を受けるために必要となる基礎知識や技能を身につけた人
- ・ 基礎となる専門領域を最先端まで探究しようとする人
- ・ 現代における諸問題を学際的に深く探究しようとする人
- ・ 専門的知識を再構築する意欲や解明したい問題に自ら取り組む意欲をもつ人
- ・ さまざまな分野でアジア諸国をはじめとして国際社会に貢献することを目指す人

上記のような学生を適正に受け入れるために、専攻・講座等の募集単位ごとに、専門性に即した書類審査や口述試験等を組み合わせ、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜などの多様で適切な選抜を実施します。

※年度途中で変更する場合、以下の本学ホームページでお知らせします。

大学院人間文化総合科学研究科ホームページ（三つのポリシー）

http://www.nara-wu.ac.jp/daigakuin/policy_ad_h30.html

大学案内ホームページ（三つのポリシー）

<http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/3policies/>

各専攻・コース 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

人文社会学専攻

【教育理念】

人文社会学専攻は、歴史学、地理学、社会学のいずれかを基盤として、学際的に諸問題を探究できる人材を育成することを目的としています。従来の枠組みにとらわれることなく、関連分野に対しても熱いまなごしを注ぐことができる意欲的な学生を望みます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・専門分野に関する基礎的知識
- ・資史料や文献を読み解くための語学力
- ・調査・分析、フィールドワークなどを行うための研究方法に関する経験・知識
- ・調査結果や文献などを適切に分析し、論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を広く社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

コースごとに、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施します。大学院で学ぶために必要な専門知識や研究を計画し実施する能力を測るために、筆記試験と口述試験を行って選抜します。

人文社会学専攻 歴史学コース

【教育理念】

歴史学コースは、日本、アジア、ヨーロッパを中心に、政治史、社会史、思想史、文化史、考古学、美術史といった多様な視点、方法により、歴史をめぐる問題について研究を行います。さまざまな言語で記された文献の読解・分析、人間が創り出したモノや作品も含めた資史料の調査、フィールドワークなどに関する高度な知識や技法を身につけるとともに、人文・社会科学、自然科学等の分野を問わず必要とされる歴史的思考を培います。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・日本史、東洋史、西洋史、考古学、美術史に関する基礎的知識
- ・文献を読み解くための語学力・分析力
- ・資料の調査・分析、フィールドワークなどを行うための方法に関する経験・知識
- ・自由な発想に基づく独自の課題に主体的・積極的に取り組む能力
- ・調査結果や文献などを適切に分析し、論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

歴史学コースで学ぶ上で必要とされる日本史、東洋史、西洋史、考古学、美術史の基礎学力を、筆記試験と口述試験に基づき評価します。

一般選抜

筆記試験では、専門科目（日本史、東洋史、西洋史、考古学、美術史）と外国語科目（英語）を課し、専門分野に関する基礎知識、論述力、外国語読解力を評価します。口述試験では、志望動機、研究内容、表現力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では、専門科目（日本史、東洋史、西洋史、考古学、美術史）を課し、専門分野に関する基礎知識、論述力を評価します。口述試験では、志望動機、研究内容、表現力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では、専門科目（日本史、東洋史、西洋史、考古学、美術史）を課し、専門分野に関する基礎知識、論述力を評価します。口述試験では、志望動機、研究内容、表現力を評価します。

人文社会学専攻 地理学コース

【教育理念】

地理学コースでは、人文地理学、自然地理学、地誌学に加え、社会・経済・文化、環境問題、自然災害などに関わる地域研究も視野に入れながら、人間活動と地域・環境との関係性を多面的に研究しています。上記の諸学

間の理論を学ぶとともに、地域調査データや地理情報の高度な解析・分析手法、インタビューやアンケートによる調査方法などを身につけるための教育を行います。このような専門的な技術・知識を活かしつつ、地域が直面する諸問題を的確に把握し、その解決策を導き出すために多様な人々と協働して、主体的に研究を進めていく学生を育てます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・地理学（人文地理学，自然地理学，地誌学）に関する基礎的知識
- ・地域調査を自ら計画・実践する能力
- ・調査結果や文献などを適切に分析し，論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

地理学コースで学ぶ上で必要とされる基礎学力を，提出書類（研究計画書，あるいは本コースに関連する論文）および筆記試験，口述試験に基づき評価します。

一般選抜

筆記試験では，専門科目（地理学）と外国語科目（英語）を課し，専門分野に関する基礎知識，論述力，外国語読解力を評価します。口述試験では，主体的に学ぼうとする意欲，研究計画，表現力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では，専門科目（地理学）を課し，専門分野に関する基礎知識，論述力を評価します。口述試験では，主体的に学ぼうとする意欲，研究計画，表現力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では，専門科目（地理学）を課し，専門分野に関する基礎知識，論述力を評価します。口述試験では，主体的に学ぼうとする意欲，研究計画，日本語または英語によるコミュニケーション能力を評価します。

人文社会学専攻 社会学コース

【教育理念】

社会学コースは，人々のつながり（関係）とそのつながりを基礎とした仕組み（制度・構造）と，それらを持続あるいは変化させる媒体（文化・コミュニケーション）を研究対象としています。人間の多様性やグローバル社会への視座も重視しながら，高度で専門的な社会的思考力と分析技法を習得します。さらに，社会的な探究と関わりの深い文化人類学や，ジェンダー論，観光論，メディア論なども学びつつ，現代社会において解明すべき課題を自ら設定し，その課題に積極的かつ独創的に取り組む能力を身につけます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき，次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・社会学全般に関する基礎的知識
- ・資史料や文献を読み解くための語学力・分析力
- ・調査・分析，フィールドワークなどを行うための研究方法に関する経験・知識
- ・調査結果や文献などを適切に分析し，論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

社会学コースで学ぶ上で必要とされる社会学の基礎学力を，提出書類（研究計画書，あるいは本コースに関連する論文），および筆記試験，口述試験に基づき評価します。

一般選抜

筆記試験では，専門科目（社会学）と外国語科目（英語）を課し，専門分野に関する基礎知識，論述力，外国語読解力を評価します。口述試験では，志望動機，研究計画，表現力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では，専門科目（社会学）を課し，専門分野に関する基礎知識，論述力を評価します。口述試験では，志望動機，研究計画，表現力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では，専門科目（社会学）を課し，専門分野に関する基礎知識，論述力を評価します。口述試験では，志望動機，研究計画，表現力を評価します。

言語文化学専攻

【教育理念】

言語文化学専攻には、日本・中国およびヨーロッパ・アメリカの言語や文学を専門とし、さまざまな方法で研究を行う教員が揃っています。この多様性を活かして、例えば、日本近代文学を専門としつつ、フランス文学理論をあわせて学んだり、写本の一字一字を丹念に読む文献学的方法と、コンピュータによるテキスト分析の方法を共に身につけるなどといった、自分の研究テーマをしっかりともち、かつ幅広い視野に立った研究にチャレンジする学生を求めます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・ 専門分野に関する基礎的知識
- ・ 資料や文献を読み解くための語学力
- ・ 調査結果や文献などを適切に分析し、論理的に説明する能力
- ・ 大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・ 社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・ 大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

コースごとに、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施します。大学院で学ぶために必要な専門知識や研究を計画し実施する能力を測るために、筆記試験と口述試験を行って選抜します。

言語文化学専攻 日本アジア言語文化学コース

【教育理念】

日本アジア言語文化学コースは、日本・中国の言語や文学作品を中心に、東アジアの言語文化を広く視野におさめながら研究するコースです。古代から現代にいたる日本語の歴史、上代文学、中古～近世の物語・和歌・諸文芸、近現代文学、出版文化、さらには古典から現代におよぶ中国文学・中国語学など、研究領域は多岐にわたります。これらの諸領域について、確かな知識と調査・分析方法にもとづいた深い探究を行うとともに、領域横断的に考察を進め、独創的な知見を社会に発信する力を培います。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・ 日本・中国の言語や文学に関する基礎的知識
- ・ 日本・中国を中心としたさまざまな時代や地域の資料や文献を読み解くための語学力
- ・ 調査結果や文献などを適切に分析し、論理的に説明する能力
- ・ 大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・ 社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・ 大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

日本アジア言語文化学コースで学ぶ上で必要とされる日本あるいは中国の言語・文学に関する基礎学力を、提出書類（卒業論文あるいは研究計画書）および筆記試験、口述試験に基づき評価します。

一般選抜

筆記試験では、専門科目（日本あるいは中国の言語・文学）を課し、専門分野に関する基礎知識、専門とする時代・地域の文献を読み解く力、論理的に思考し的確なことばで表現する力を測ります。口述試験では、主体的に学ぼうとする意欲、明確な研究展望、言語コミュニケーション能力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では、専門科目（日本あるいは中国の言語・文学）を課し、専門分野に関する基礎知識、専門とする時代・地域の文献を読み解く力、論理的に思考し的確なことばで表現する力を測ります。口述試験では、主体的に学ぼうとする意欲、明確な研究展望、言語コミュニケーション能力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では、専門科目（日本あるいは中国の言語・文学）を課し、専門分野に関する基礎知識、専門とする時代・地域の文献を読み解く力、論理的に思考し的確なことばで表現する力を測ります。口述試験では、主体的に学ぼうとする意欲、明確な研究展望、日本語の理解・表現能力を評価します。

言語文化学専攻 ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース

【教育理念】

ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コースは、欧米の言語と文学作品を中心に、日本の言語文化との比較も視野に入れて、欧米の言語文化を研究するコースです。英語学・言語学、イギリス文学、アメリカ文学、ドイツ文学、

フランス文学の五分野において、語学力を駆使して文献を読み解き、幅広い学際的な研究を進めます。欧米の多様な言語文化を研究することで培われた国際的な知見と判断力をもとに、社会における様々な課題を解決し、新たなものを創り出す能力を備えた人材を育成します。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・英語学・言語学，英米文学，ドイツ文学，フランス文学に関する基礎的知識
- ・英語，ドイツ語，フランス語で書かれた資料や文献を読み解くための語学力
- ・調査結果や文献などを適切に分析し，論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・現代の多様で複雑な社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・研究で得た知見や能力をもとにして国際社会における新たな課題に取り組む意欲

【入学者選抜の基本方針】

ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コースで学ぶ上で必要とされる英語，ドイツ語，フランス語の言語能力と，英語学・言語学，英米文学，ドイツ文学，フランス文学の基礎学力を，提出書類（卒業論文あるいは研究計画書）および筆記試験，口述試験に基づき評価します。

一般選抜

筆記試験では，専門科目（英語学・言語学，英米文学，ドイツ文学，フランス文学）を課し，専門分野に関する基礎知識，専門に係わる言語で書かれた文献を読み解く力，論理的に思考し的確なことばで表現する力を測ります。口述試験では，志望動機，研究計画，社会に対する問題意識と課題に取り組む意欲，言語コミュニケーション能力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では，専門科目（英語学・言語学，英米文学，ドイツ文学，フランス文学）を課し，専門分野に関する基礎知識，専門に係わる言語で書かれた文献を読み解く力，論理的に思考し的確なことばで表現する力を測ります。口述試験では，志望動機，研究計画，社会に対する問題意識と課題に取り組む意欲，言語コミュニケーション能力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では，専門科目（英語学・言語学，英米文学，ドイツ文学，フランス文学）を課し，専門分野に関する基礎知識，専門に係わる言語で書かれた文献を読み解く力，論理的に思考し的確なことばで表現する力を測ります。口述試験では，志望動機，研究計画，社会に対する問題意識と課題に取り組む意欲，言語コミュニケーション能力を評価します。

人間科学専攻

【教育理念】

人間科学専攻は，哲学・思想，教育学，心理学，音楽教育学，身体文化学等の研究を通して，人間と人間の行動について広い視野から深く学ぶことを目的としています。教育学・人間学コースでは人間形成と人間存在に関わる幅広い事象について高度な専門教育と研究を行います。心理学コースでは人間の心と行動そして人間関係について，理論と実践の両方を視野に入れて高度な専門教育と研究を行います。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき，次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・専門分野に関する基礎的知識
- ・資料や文献を読み解くための語学力
- ・資料の分析，実験や観察，フィールド調査などの研究方法に関する知識と能力
- ・調査結果や文献などを適切に分析し，論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

コースごとに，一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜を実施します。大学院で学ぶために必要な専門知識や研究を計画し実施する能力を測るために，筆記試験と口述試験を行って選抜します。

人間科学専攻 教育学・人間学コース

【教育理念】

教育学・人間学コースは，哲学・思想，教育学，音楽教育学，身体文化学の研究を通して，人間形成と人間存在に関わる幅広い事象について広い視野から深く学ぶことを目的としています。本コースでは，文献資料による

理論的研究、観察・インタビュー・アンケート等の調査による実証的研究など、多様な研究方法を批判的に吟味しつつ活用します。現代社会における様々な人間の営みについて生き生きとした関心を持ち、その問題点を原理的に探究するとともに創造的に克服していく、高度な専門的能力を身につけた学生を育てます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・哲学・思想，教育学，音楽教育学，身体文化学に関する基礎的知識
- ・資料や文献を読み解くための言語能力
- ・調査結果や文献などを適切に分析し，論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

教育学・人間学コースで学ぶ上で必要とされる専門分野（哲学・思想，教育学，音楽教育学，身体文化学のいずれか）の学力を，筆記試験と口述試験に基づき評価します。

一般選抜

筆記試験では，専門科目（哲学・思想，教育学，音楽教育学，身体文化学のいずれかを選択）と外国語科目（英語）を課し，専門分野に関する基礎的知識，論述力，外国語読解力を評価します。口述試験では，志望動機，研究計画，表現力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では，専門科目（哲学・思想，教育学，音楽教育学，身体文化学のいずれかを選択）を課し，専門分野に関する基礎的知識，論述力を評価します。口述試験では，志望動機，研究計画，表現力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では，専門科目（哲学・思想，教育学，音楽教育学，身体文化学のいずれかを選択）を課し，専門分野に関する基礎的知識，論述力を評価します。口述試験では，志望動機，研究計画，日本語でのコミュニケーション能力を評価します。

人間科学専攻 心理学コース

【教育理念】

心理学コースは，人間科学諸分野と連携し，人間の心と行動そして人間関係について理論と実践の両方を視野に入れて，高度な専門教育と研究を行います。コースの学生は，人間と社会の現実を見据えた規範的判断力と論理的思考そして高度な専門知識の学修に基づいて，観察，面接，質問紙，あるいは，実験による研究を自身で主体的・対話的に行います。それを通して，心理学における分析力，構想力，検証力，活用力，実践力を養います。選択履修可能な公認心理師養成課程もあります。基礎学術，応用，産業等における研究者，企業，行政，文化等における高度専門職業人，あるいは，教育，医療・保健，社会福祉，司法・矯正等における高度専門職業人として，他者と対話・協働しながら現場をリードする人材を育成します。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき，次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・心理学分野に関する基礎的知識
- ・心理学における海外学術誌の研究論文を読み解くための英語の読解力
- ・フィールド観察，面接調査，質問紙調査，実験などの研究方法と心理統計学の基礎に関する知識と能力
- ・観察，調査，実験の結果や文献などを適切に分析し，論理的に説明する能力
- ・大学での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根差した真摯な問題意識と対話的協働性
- ・大学院における研究を社会に還元する意欲

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜を実施します。大学院の心理学コースでより高度な心理学を学ぶために必要な，専門知識と研究能力を測るための筆記試験と口述試験をそれぞれ個別に行って選抜します。

一般選抜

筆記試験では，心理学の英語文献の読解力，心理学の研究法と統計法の基礎的な知識と論理的思考力，心理学の諸概念や用語についての基礎的知識を評価します。口述試験では，出願書類に基づいて質疑を行い，志望理由，学習意欲，将来展望，研究計画，論理的思考力，規範的判断力，対話的コミュニケーション能力を評価します。

社会人特別選抜

筆記試験では，心理学の英語文献の読解力，実社会の問題や課題とその解決への心理学的な観察力・思考力・論述力，心理学の諸概念や用語についての基礎的知識を評価します。口述試験では，出願書類に基づいて質疑を

行い、志望理由、学習意欲、将来展望、研究計画、論理的思考力、規範的判断力、対話的コミュニケーション能力を評価します。

外国人留学生特別選抜

筆記試験では、心理学の英語文献の読解力、心理学の研究法と統計法の基礎的な知識と論理的思考力、心理学の諸概念や用語についての基礎的知識を評価します。口述試験では、出願書類に基づいて質疑を行い、志望理由、学習意欲、将来展望、研究計画、論理的思考力、規範的判断力、対話的コミュニケーション能力を評価します。

食物栄養学専攻

【教育理念】

本専攻は、病気を予防し、健康を維持・増進する食生活を実現するために、現代の食に関わる多様な問題について研究・教育することを目的とします。したがって、広い視野に立ちこの分野に対する意欲的な研究マインドを持つ学生を望みます。

【求める学生像】

- ・一定の科学的知識を備えている
- ・食物栄養学において将来の科学的展望を切り開いていこうとする意欲がある
- ・科学論文を理解する語学力と読解力がある

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

食物栄養学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFL, TOEIC, もしくは英語の筆記試験)、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

食物栄養学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFL, TOEIC, もしくは英語の筆記試験)、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された研究論文等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

食物栄養学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFL, TOEIC, もしくは英語の筆記試験)、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

心身健康学専攻

【教育理念】

心身健康学専攻は、心と身体健康と人間を取り巻く環境との相互作用について学び、高度な科学研究の成果を応用して健康で安全な生活を実現するための知識と技能を身につけた人材の育成を目的としています。これらの知識や技能を身につけるために、3つのコース（生活健康学コース、スポーツ科学コース、臨床心理学コース）を設け、それぞれの視点からより深く研究教育を行います。高い専門性を保ちながら、幅広い視点で健康や生活のあり方について考え、よりよい生き方や環境のあり方を提案することにより社会に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。

【求める学生像】

- 上記の教育理念にもとづき、心身健康学専攻は次のような資質および意欲をもつ学生を求めます。
- ・身近な生活環境、社会環境、生活習慣と心身の健康との関連を深く探究しようとする学生。
 - ・個々の学問領域の基礎となる専門知識を有し、新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
 - ・心と身体健康に関する知識を総合的に学び、高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
 - ・幅広い事業分野で専門職業人として、女性リーダーとして社会貢献を目指す学生。
 - ・さまざまな分野で国際社会に貢献することを目指す学生。

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、コース毎に入学試験科目を設定します。

心身健康学専攻 生活健康学コース

【教育理念】

生活環境、生活習慣が生体機能に及ぼす影響について学び、健康で安全な生活の創造に役立つ知識と技能を身につけた人材を育成します。研究・教育を通じて科学的で論理的な考え方を身につけた応用力の高い人材の育成を行ないます。

【求める学生像】

- ・生活環境や生活習慣と生体機能との連関を探究しようとする学生。
- ・自然科学的な基礎知識，特に生理学，生化学，神経科学等の専門知識を有し，新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- ・心と身体の健康に関する知識を総合的に学び，高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- ・自らの研究を世界に発信する意欲ある学生。
- ・幅広い事業分野で専門職業人・研究者として，国内外で社会貢献を目指す学生。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜

コースの専門分野から出題する「専門科目」の筆記試験，「英語」（TOEFL もしくは TOEIC），および口述試験の成績，ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

コースの専門分野から出題する「専門科目」の筆記試験，「英語」（TOEFL もしくは TOEIC），および口述試験の成績，ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

コースの専門分野から出題する「専門科目」の筆記試験，「英語」（TOEFL もしくは TOEIC），および口述試験の成績，ならびに出身大学等の発行する成績証明書および任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

心身健康学専攻 スポーツ科学コース

【教育理念】

スポーツ科学の高度な専門的知識について学び，豊かな人間性とリーダーシップを備え，社会の発展に貢献できる人材を育成します。研究・教育を通じて科学的で論理的な考え方を身につけた応用力の高い人材の育成を行います。

【求める学生像】

- ・生活環境や社会環境と身体，運動，スポーツ行動との関連を探究しようとする学生。
- ・人文科学・社会科学・自然科学の学際的視点からスポーツ科学，体育学に関する専門知識を有し，新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- ・心と身体の健康に関する知識を総合的に学び，高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- ・スポーツ科学の専門職業人として，女性リーダーとなり社会貢献を目指す学生。
- ・スポーツ科学の専門家，研究者として，国内外での貢献を目指す学生。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜

スポーツ科学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む），および口述試験の成績，ならびに出身大学等の発行する成績証明書，研究希望調書などを総合して判定します。

社会人特別選抜

スポーツ科学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む），および口述試験の成績，ならびに出身大学等の発行する成績証明書および研究希望調書などを総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

スポーツ科学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む），および口述試験の成績，ならびに出身大学等の発行する成績証明書，研究希望調書，および任意で提出された日本語能力確認書類などを総合して判定します。

心身健康学専攻 臨床心理学コース

【教育理念】

大学教育で培ってきた臨床心理学に関する専門的な知識や科学的研究方法を基礎に，臨床心理学についてのさらに高度な専門性や実践力を身につけることで，こころの健康という観点から社会に貢献することができる人材を育成します。

【求める学生像】

- ・生活環境や社会環境と心の健康との関連を探究しようとする学生。
- ・臨床心理学に関する専門知識を有し，新たな認識・知識の獲得に意欲的な学生。
- ・心と身体の健康に関する知識を総合的に学び，高度な専門的知識を再構築する意欲ある学生。
- ・さまざまな分野における臨床心理学の専門職業人として，女性リーダーとなり社会貢献を目指す学生。
- ・心の問題の専門家，研究者として，国内外での貢献を目指す学生。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜

臨床心理学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む），および口述試験，ならびに出身大学等の発行する成績

証明書、研究希望調書などを総合して判定します。

社会人特別選抜

臨床心理学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験、ならびに出身大学等の発行する成績証明書および研究希望調書などを総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

臨床心理学の「専門科目」の筆記試験（英語を含む）、および口述試験、ならびに出身大学等の発行する成績証明書、研究希望調書、および任意で提出された日本語能力確認書類などを総合して判定します。

情報衣環境学専攻

【教育理念】

情報衣環境学専攻は次の3点を基本理念の柱とします。衣の観点から快適・健康・安全で質の高い生活環境を創り出すために必要な新しい技術開発や諸問題の研究に取り組める指導的人材を育成すること。そして、現代社会のICT環境を構成しつつあるライフ・コンピューティングの観点から生活環境を改善する技術を開発し社会に発信できる人材を育成すること。さらに双方の融合した先端学際領域で活躍できる人材を育成すること。これらの理念を実現するために、衣環境学コースおよび生活情報通信科学コースにおいて、多岐多様な分野に関する最先端の研究教育を行っています。

【求める学生像】

本専攻は衣環境学と生活情報通信科学を軸とする生活環境科学の多様な教育研究を行っています。従来の科目区分の枠に収まらない学際的な研究分野に興味を持ち、安全で快適な衣環境設計やライフ・コンピューティングの展開に積極的に関わる意欲のある学生を歓迎します。専門分野の研究を十分に行うために英語の能力も必要です。以上の点に関して十分な知識を習得していることを期待します。

【入学者選抜の基本方針】

コース毎に入学試験科目を設定し、その成績に基づき総合的に判断して合格者を決定します。

情報衣環境学専攻 衣環境学コース

【教育理念】

本コースは、健康で快適かつ安全な生活の在り方を実現するために、物質科学、環境科学、分析科学の原理や技術に基づき、衣環境学に関連する分野について研究・教育することを目的とします。したがって、広い視野に立ちこの分野に対する意欲的な探究心を持つ学生を望みます。

【求める学生像】

- ・物理、化学、数学の基礎学力や一定の科学的知識を備えている。
- ・衣環境学分野において将来の科学的展望を切り開いていこうとする意欲がある。
- ・学術論文を理解する語学力と読解力がある。

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

衣環境学分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFLもしくはTOEIC)、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

衣環境学分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFLもしくはTOEIC)、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された研究論文等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

衣環境学分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFLもしくはTOEIC)、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

情報衣環境学専攻 生活情報通信科学コース

【教育理念】

生活情報通信科学コースではライフ・コンピューティングに関する様々な課題に主体的に取り組める人材を育成します。すなわち、現在の生活環境から問題を発見し、その解決方法を模索し、新たな手法を考案・開発し、それを社会に発信できるような人材の育成です。具体的な分野として、コンピュータシステム、人工知能、数値解析、ソフトウェア工学等から生活環境をよりよくするための意欲のある研究者技術者を社会に輩出します。

【求める学生像】

生活情報通信科学コースではプログラミングやコンピュータシステム、情報理論等の情報科学の基礎を習得し

ていることに加え、専門分野の研究を行うために英語の能力も必要となります。さらにライフ・コンピューティング等に代表される従来の情報科学の科目区分に収まらない研究分野に興味を持ち、新しい分野の展開に積極的に関わる意欲ある学生を歓迎します。

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

情報科学分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」の筆記試験、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

情報科学分野から出題する「小論文」の筆記試験および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された研究論文等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

情報科学分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」の筆記試験、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

推薦選抜

研究内容に関して口頭発表および質疑応答を行う口述試験の成績と推薦書などの提出書類を総合して判定します。

住環境学専攻

【教育理念】

住環境学専攻では、人間の日常的な生活環境から地球環境に関わる諸問題を、生活の視点から総合的に捉えて、問題を解決する能力を養います。そして、社会が求めている安全で安心できる住まい、かつ快適で魅力的な住環境という要請に応じて、計画・設計を創造提案し、それらを維持・管理できる高度な専門的知識を備えた人材を育成することを教育理念としています。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質や能力がある学生を求めます。

- ・専門分野に関する基礎知識のある人
- ・住居の内外的な生活や住環境のあり方を考える問題意識のある人
- ・さまざまな生活を容れる居住空間や住環境を計画・デザインすることへ強い関心のある人
- ・専門領域において課題・問題を見出し解決する能力のある人
- ・調査・分析、実験、フィールドワークなどを行う研究方法に関する経験や知識のある人
- ・大学院における研究を広く社会に還元する意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

住環境学専攻の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFLもしくはTOEIC)、口述試験、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

住環境学専攻の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、口述試験、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された研究論文等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

住環境学専攻の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、口述試験、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

生活文化学専攻

【教育理念】

男女共同参画、環境保護、高齢化、少子化など、現代の生活に関わる課題は極めて多様です。本専攻では社会科学と人文科学にまたがる教育カリキュラムを用意し、身近なところから問題を掘り起こす課題発見能力、諸問題の複雑な相互関連まで含めて明らかにする論理的分析力、研究を現実社会への提言に結びつけることのできる応用力をあわせ持った、真に社会に貢献できる人材の育成に努めます。

【求める学生像】

- ・家庭生活を中心とする人間的スケールから生活環境のあり方を考えるということに、強い興味と関心を持つ学生を求めています。
- ・社会科学、人文科学の分析視角を創造的に融合させることによって、身近な「世界」の中に、新たな認識・知

識を発見していくことに対して意欲的な学生を、文系・理系を問わず歓迎します。

【入学者選抜の基本方針】

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

生活文化学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFL もしくは TOEIC)、および口述試験の成績、ならびに出身大学等の発行する成績証明書を総合して判定します。

社会人特別選抜

生活文化学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された研究論文等を総合して判定します。

外国人留学生特別選抜

生活文化学の各分野から出題する「専門科目」の筆記試験、「英語」(TOEFL もしくは TOEIC)、および口述試験の成績、出身大学等の発行する成績証明書、ならびに任意で提出された日本語能力確認書類を総合して判定します。

数物科学専攻

【教育理念】

数物科学専攻は、社会のグローバル化、価値観の多様化、予測不能な自然・社会現象に対応できる広い視野と多様な価値観を持ち、高い水準の数学と物理学の専門知識を備えるとともに、その知識を社会の中で自らが置かれた立場に応じて継承し発展させることができる人材を育成することを目的としています。この目的に沿って、数物科学専攻には、数学コース、物理学コースおよび数物連携コースの三つのコースを設けています。数学コースでは自然科学の知識と応用を背景に、高度な数学的思考力を涵養し、諸現象の中に潜む数学的構造を究明し、合理的に問題を解決できる人材を、物理学コースでは、宇宙から極微の世界にわたる様々な自然現象を理解するための知識と物理的思考法に加え、最先端の研究に関わる計算・計測技術を活用し、現代の高度化した科学技術の幅広い分野で活躍できる人材を、数物連携コースでは、高度な数学、物理学、情報科学の連携教育を行なうことで、幅広い問題解決力を有した人材を育成することを目指します。

【求める学生像】

上記の教育理念に基づき、下記のような素養・意欲を持つ学生を求めます。

- ・ 数学や物理学に興味を抱き、その内容を深く学びたいと希望する学生
- ・ 数学や物理学の学習を通じて得られた知識、技術や方法論を用いて、将来社会において広く活躍する意欲のある学生
- ・ さまざまな自然現象や社会現象の中に隠れている原理について強い好奇心を持ち、それに対して理論的あるいは実験的につきつめて明らかにしようとする探究心を持つ学生

数物科学専攻を希望する学生は、学部で履修する数学や物理学の基礎をしっかりと身につけていることが必要です。それとともに、自然科学全般の基礎的素養とグローバルに活躍するために必須な語学力が必要です。

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

一般選抜

大学で修得しておくべき専門の基礎学力と大学院の専攻において学ぶ上で必要となる基礎学力を評価するために、各コースで、7月の入試では専門に関する筆記試験と口述試験を、1月の入試では口述試験のみを課し、その結果と出願書類とを総合的に判断して合否を判定します。

推薦選抜

研究意欲が強く専門分野において高い学力と優れた資質を持つ学生を対象とした入試で、各コースで、大学の成績を基準にした推薦にもとづき、口述試験を行います。その結果と出願書類とを総合的に判断して合否を判定します。

社会人特別選抜

社会経験を経たのちにさらに専門分野を深く学びたいという意欲があり、2年以上の社会経験を経た者を対象として行います。各コースで、研究計画書等の出願書類と筆記試験・口述試験を総合的に判断して合否を判定します。

外国人留学生特別選抜

外国人留学生を対象とした入試で、各コースで、最終学校の成績等の出願書類と筆記試験・口述試験を総合的に判断して合否を判定します。

数物科学専攻 数学コース

【教育理念】

数学コースでは、現代数学の基礎をもとにして、現代数学の先端を学び、より高度な専門性を身につけること

を目指します。そのうえで、数学的本質をより深く理解し、複雑な対象を高度な数学的思考力で分析し、解明する能力を身につけることができます。これらの能力は、現代の知識基盤社会におけるすべての領域において必要かつ重要となるものです。数学と物理学の分野横断的科目も履修することにより、広い視野から自然現象を数学的に理解することができます。

【求める学生像】

数学コースでは、数学という学問分野に深く興味をもち、自然現象や現代社会における本質を見極めたいという知的好奇心や探究心にあふれた学生を求めます。数学コースを希望する学生は、大学で学んだ現代数学の基礎をしっかりと身につけておくことが望まれます。また、さまざまな自然現象や社会現象に関心をもっていること、語学力をしっかりと身につけておくことも望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

試験では主に大学で学んだ現代数学の基礎の理解度を評価します。この結果と出願書類を総合して可否を判定します。一般選抜の7月入試では、筆記試験（数学）と口述試験を、1月入試では口述試験のみを課します。推薦選抜では口述試験を課します。外国人留学生特別選抜では、筆記試験（数学）と口述試験を課します。社会人特別選抜では、筆記試験（数学）と口述試験を課します。

数物科学専攻 物理学コース

【教育理念】

物理学は、素粒子や原子核といった物質を構成する極微の世界から、原子・分子といったミクロな粒子とそれらの集合体である身のまわりの物質、そして天体、宇宙に至るまで、いわば自然界全体を研究対象としています。そのような広がりに加えて、現代の物理学は急速に高度化と多様化が進んでいます。そのため、物理学コースでは、博士前期課程で修得すべき基礎的な知識を幅広く学べるカリキュラムを設定して、それぞれの分野で基本となる知識や応用力を培うことを目指しています。また、物理学コースの最先端の研究活動に参加し、そこで様々な経験を積むことにより、専門を深く理解できるようになるとともに、将来科学技術の幅広い分野で活躍できる能力とスキルを身につけることができます。

【求める学生像】

上記のような考えに基づき、下記のような素養・意欲を持つ学生を求めます。

- ・物理学という学問に興味を持ち、自然界に見られる様々な現象を理論的・実験的に解明したいという知的好奇心と探究心にあふれた人
- ・学部で学ぶ数学や、物理学をはじめとする自然科学の基礎をしっかりと身につけているとともに、専門をさらに深く学び、レベルアップしたいという意欲のある人
- ・物理学の学習を通じて得られた知識、技術や方法論を用いて、将来、専門的な職業に就くことにより社会で活躍することを目指す人

本コースを希望する学生は、入学時まで、数学、物理学だけでなく、自然科学全般の基礎的素養とともに、グローバルに活躍するために必須な語学の素養を身につけておくことを希望します。

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

物理学の基礎科目の筆記試験と口述試験を課し、これらの結果と出願書類を総合して可否を判定します。一般選抜の7月入試では、筆記試験（物理）と口述試験を、1月入試では口述試験のみを課します。推薦選抜では、口述試験を課します。外国人留学生特別選抜では、筆記試験（物理）と口述試験を課します。社会人特別選抜では、筆記試験（物理）と口述試験を課します。

数物科学専攻 数物連携コース

【教育理念】

現代においては、複雑な様相を呈する社会や自然の変動、知識基盤社会のますますの高度化によって、様々な課題が次々と現れています。数物連携コースでは、数学、物理学のいずれかの分野を学習して深く理解し、それとともに他方の分野の方法論を学習することにより、これらの課題を正しく認識し、その解決方法を見出すことができ、グローバルに活躍できる理系女性リーダーの育成を目的としています。

【求める学生像】

上記のような考えに基づき、下記のような素養・意欲を持つ学生を求めます。

- ・数学と物理学に興味を抱き、その基本的内容をバランスよく学習する意欲のある人
- ・数学と物理学のいずれかの分野を深く探究するとともに、もう一方の分野についても、高度な学問的内容や方

法論を習得する意欲のある人

- ・数学と物理学の学習を通じて得られた知識、技術や方法論を用いて、多様な課題を解決し、グローバルに活躍する情熱と意欲のある人

本コースを希望する学生は、入学時までには、数学、物理学だけでなく、自然科学全般の基礎的素養とともに、グローバルに活躍するために必須な語学の素養を身につけておくことを希望します。

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

数学または物理学の基礎科目の筆記試験と口述試験を課し、これらの結果と出願書類を総合して可否を判定します。一般選抜の7月入試では筆記試験(数学または物理)と口述試験を、1月入試では口述試験のみを課します。推薦選抜では、口述試験を課します。外国人留学生特別選抜では、筆記試験(数学または物理)と口述試験を課します。社会人特別選抜では、筆記試験(数学または物理)と口述試験を課します。

化学生物環境学専攻

【教育理念】

化学生物環境学専攻では、化学、生物、環境科学の学問領域が連携した研究・教育活動を推進し、物質や生物およびそれらを取り巻く自然環境を総合的にとらえることができる広い視野と正しい倫理観、正確な知識、論理的思考能力をもち、自発的かつ協動的に問題の発掘と解決に取り組むことのできる理系女性人材の育成を目指します。

【求める学生像】

化学生物環境学専攻では、自然科学全般に興味を持ち、所属するコースで高度に専門的で実践的な研究教育を通して専門知識を修得し、自ら問題点を発掘して思考し解決する能力を身につけ、将来は社会において広く活躍する意欲のある学生の入学を求めます。そのためには、大学の学部において数学や自然科学、あるいは工学や農学など理系の基礎および専門知識を修得していること、実験や実習、演習、卒業研究やセミナーなどを通して問題発掘とその解決に向けた取り組みについて経験を積んでいることが必要です。最先端の科学を研究する上で英語は必要不可欠ですので、英語について十分な能力を備えていることを望みます。また、論理的な日本語で表現するためのコミュニケーション能力も必要です。

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、各コースで実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

一般選抜

大学で修得しておくべき専門の基礎学力と大学院の専攻において学ぶ上で必要となる基礎学力を評価するために、専門に関する筆記試験と口述試験、または口述試験のみを課し、その結果と出願書類とを総合的に判断して可否を判定します。TOEIC・TOEFLの点数も判定に用います。

推薦選抜

研究意欲が強く専門分野において高い学力と優れた資質を持つ学生を対象とした入試で、各コースで、大学の成績を基準にした推薦にもとづき、口述試験を行います。その結果と出願書類とを総合的に判断して可否を判定します。化学コースではTOEIC・TOEFLの点数も判定に用います。

社会人特別選抜

社会経験を経たのちにさらに専門分野を深く学びたいという意欲があり、2年以上の社会経験を経た者を対象として行います。各コースで、研究計画書等の出願書類、筆記試験・口述試験(または口述試験のみ)を総合的に判断して可否を判定します。TOEIC・TOEFLの点数も判定に用います。

外国人留学生特別選抜

外国人留学生を対象とした入試で、各コースで、最終学校の成績等の出願書類、筆記試験・口述試験(または口述試験のみ)を総合的に判断して可否を判定します。TOEIC・TOEFLの点数も判定に用います。

化学生物環境学専攻 化学コース

【教育理念】

21世紀の化学の先端分野では、様々な自然科学分野との融合による新しい学問領域の創出が活発に行われています。このような状況にあって、大学院博士前期課程で修得すべき基礎的知識の多様化や高度化が急速に進んでいます。そこで化学コースでは、化学およびその周辺分野を幅広く網羅したカリキュラムを設定し、高度な現代化学を明解に説き起こすことによって、基盤的な知識や思考力を培うことを目指しています。さらに、化学コースの先端的な学術研究に参画し、その経験を通じて化学および関連科学技術分野で活躍できるスキルや柔軟な応用力を身につけることができます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような学生を求めます。

- ・化学の視点に立った自然科学の知的探究に興味をもち、学術的な課題を自ら発掘し解決する能力の伸長に意欲的に取り組む人
- ・大学の学部において数学、物理、化学の基礎知識を習得し、化学の実験や実習、演習、卒業研究やセミナーなどを通して化学の探究に必要な基本的な知識やスキルを身につけている人
- ・化学の研究に必要な英語の基礎力を有している人
- ・習得した化学上の専門的な知識や能力を生かして、将来高度に専門的な職業に就くことにより社会で活躍することを望む人

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

一般選抜では、筆記試験（化学の基礎問題）と口述試験（7月入試）、または口述試験のみ（1月入試）を課します。推薦選抜では、口述試験を課します。外国人留学生特別選抜では、筆記試験（化学の基礎問題）と口述試験（7月入試）、または口述試験のみ（1月入試）を課します。社会人特別選抜では、筆記試験（化学の基礎問題）と口述試験（7月入試）、または口述試験のみ（1月入試）を課します。いずれの選抜においても TOEIC・TOEFL のスコアを点数化し、判定に用います。

化学生物環境学専攻 生物科学コース

【教育理念】

生物科学コースでは、生物科学を中心とした自然科学に関する正確で高度な専門知識、それを自発的・持続的にアップデートできる能力、論理的思考能力に加え、健全な倫理観を身につけ、高いコミュニケーション能力をもって社会の発展に主体的に関わることのできる人材の育成を目指しています。

【求める学生像】

生物科学コースでは、上記の教育目標を十分に理解した上で、本コースで得られる自然科学に関する高度な知識や能力を将来、医学、食品化学、製薬、農学、環境科学などの諸分野で活かしたいという情熱と意欲のある学生を望んでいます。入学時までには、下記のような知識・能力を身につけておくことを希望します。

- ・大学の学部等において学修する数学や自然科学など理系の基礎および専門知識
- ・現代の自然科学を学修するうえで必要な英語の能力
- ・大学院における研究指導・教育を受けるために必要な言語的コミュニケーション能力

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

一般選抜では、筆記試験（生物科学）と口述試験を課します。推薦選抜では、口述試験を課します。外国人留学生特別選抜では、筆記試験（生物科学）と口述試験を課します。社会人特別選抜では、筆記試験（生物科学）と口述試験を課します。推薦選抜を除く選抜では TOEIC・TOEFL のスコアを点数化し、判定に用います。

化学生物環境学専攻 環境科学コース

【教育理念】

人類が直面するさまざまな環境問題を自然科学が関係する問題として理解し、対策を講じるためには、細分化された学問領域にとらわれない広範囲の知識と理解力、思考力が必要です。環境科学コースでは、分野横断的な自然科学の知識と技能を身につけ、環境問題の解決に貢献できる国際的な人材を育成することを目指しています。

【求める学生像】

本コースの教育理念を理解した上で、環境問題にかかわる自然現象一般に強い好奇心を持ち、環境問題の解明や解決に貢献したいという情熱と意欲のある学生を望んでいます。入学時までには、以下のような能力を身につけておくことを希望します。

- ・大学の理系学部における教養および専門教育を修了した程度の基礎学力、論理的な思考能力とコミュニケーション能力を備えている。
- ・実験や実習、演習、卒業研究やセミナーなどを通して、問題発掘とその解決に向けた取り組みについて経験を積んでいる。
- ・環境科学の研究に必要な英語の基礎能力を備えている。

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、実施する試験の成績および出願書類等を総合して評価します。

一般選抜、推薦選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜では、口述試験を課します。推薦選抜を除く選抜では TOEIC・TOEFL のスコアを点数化し、判定に用います。

Ⅱ 募集人員・出願期間・試験期日等

1. 募集人員

専攻名	コース名	募集人員			
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	推薦選抜
人文社会学専攻	歴史学コース	24名	若干名	若干名	-
	地理学コース				
	社会学コース				
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース	18名	若干名	若干名	-
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース				
人間科学専攻	教育学・人間学コース	12名	若干名	若干名	-
	心理学コース				
食物栄養学専攻	-	13名	若干名	若干名	-
心身健康学専攻	臨床心理学コース (4月入学のみ)	12名	若干名	若干名	-
	生活健康学コース	10名	若干名	若干名	-
	スポーツ科学コース				
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	10名	若干名	若干名	-
	生活情報通信科学コース				若干名
住環境学専攻	-	13名	若干名	若干名	-
生活文化学専攻	-	9名	若干名	若干名	-
数物科学専攻	数学コース	28名	若干名	若干名	若干名
	物理学コース				
	数物連携コース				
化学生物環境学専攻	化学コース	42名	若干名	若干名	若干名
	生物学コース				
	環境科学コース				

【令和6年10月入学】

※ 秋季（10月）入学の募集人員は、各専攻（心身健康学専攻臨床心理学コースを除く）の一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜及び推薦選抜（化学生物環境学専攻化学コースのみ）の若干名とする。

※ 心身健康学専攻臨床心理学コースは、秋季（10月）入学の募集を行いません。

【令和7年4月入学】

※ 一般選抜の募集人員には、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜及び推薦選抜の各募集人員若干名を含みます。

2. 出願期間・試験期日・合格発表日等

令和6年10月入学を希望する場合と令和7年4月入学を希望する場合で、試験期日等が異なりますのでご注意ください。

【令和6年10月入学】試験

専攻名	出願期間	試験期日	合格発表日
人文社会学専攻 言語文化学専攻 人間科学専攻	令和6年7月12日(金) } 令和6年7月18日(木)	令和6年8月30日(金)	令和6年9月10日(火)
食物栄養学専攻 心身健康学専攻 (臨床心理学コースは除く) 情報衣環境学専攻 住環境学専攻 生活文化学専攻	令和6年6月17日(月) } 令和6年6月20日(木)	令和6年7月6日(土)	令和6年7月17日(水)
数物科学専攻 化学生物環境学専攻	令和6年6月17日(月) } 令和6年6月20日(木)	令和6年7月6日(土)	令和6年7月17日(水)

※ 合格発表の時刻は、いずれも合格発表日の午前10時です。

※ 心身健康学専攻臨床心理学コースについては、秋季(10月)入学試験を実施しません。

※ 推薦選抜は、化学生物環境学専攻化学コースのみ、秋季(10月)入学試験を実施します。

【令和7年4月入学】試験

専攻名	出願期間	試験期日	合格発表日 ※1
人文社会学専攻 言語文化学専攻 人間科学専攻	令和6年7月12日(金) } 令和6年7月18日(木)	令和6年8月30日(金)	令和6年9月10日(火)
	令和7年1月6日(月) } 令和7年1月9日(木)	令和7年2月1日(土)	令和7年2月13日(木)
食物栄養学専攻 心身健康学専攻 生活健康学コース スポーツ科学コース 情報衣環境学専攻 衣環境学コース 生活情報通信科学コース ※2 住環境学専攻 生活文化学専攻	令和6年6月17日(月) } 令和6年6月20日(木)	令和6年7月6日(土)	令和6年7月17日(水)
	令和7年1月6日(月) } 令和7年1月9日(木)	令和7年2月1日(土)	令和7年2月13日(木)
心身健康学専攻 臨床心理学コース ※3	令和6年6月17日(月) } 令和6年6月20日(木)	第1次選考： 令和6年7月6日(土) 第2次選考： 令和6年8月20日(火)	第1次合格： 令和6年7月17日(水) 最終合格： 令和6年9月3日(火)
	令和7年1月6日(月) } 令和7年1月9日(木)	令和7年2月1日(土) (※4 予備日 令和7年2月2日(日))	令和7年2月13日(木)
数物科学専攻 数学コース 物理学コース 数物連携コース 化学生物環境学専攻 化学コース 生物科学コース 環境科学コース ※5	令和6年6月17日(月) } 令和6年6月20日(木)	令和6年7月6日(土)	令和6年7月17日(水)
	令和7年1月6日(月) } 令和7年1月9日(木)	令和7年2月1日(土)	令和7年2月13日(木)

- ※1 合格発表の時刻は、いずれも合格発表日の午前10時です。
- ※2 情報衣環境学専攻生活情報通信科学コースの推薦選抜は、令和6年7月6日(土)にのみ実施します。
- ※3 心身健康学専攻臨床心理学コースにおいて、7、8月に実施する入試については、第1次選考を実施し、その合格者に対して第2次選考を実施します。最終合格者は、第1次選考と第2次選考の結果を総合的に判断して決定します。
- ※4 予備日とは、志願状況により一日で全員の口述試験を実施することができない場合に備えて設定した日のことです。
- ※5 数物科学専攻の各コース及び化学生物環境学専攻の各コースの推薦選抜は、令和6年7月6日(土)にのみ実施します。

出願期間等

① 出願について

- ・ 出願受付場所 奈良女子大学入試課（大学院F棟1階）
〒630-8506 奈良市北魚屋西町
TEL 0742 - 20 - 3023

【持参する場合】

出願期間内の土・日・祝日を除く午前9時から午後5時までの間に、奈良女子大学入試課に持参してください。

【郵送する場合】

送付する封筒に「博士前期課程入学志願書類在中」と朱書きし、**出願期間内に必着**するよう、必ず**簡易書留速達郵便により郵送**してください。ただし、受験しようとする試験期日に対応する出願期間最終日の前日までの日本国内の受付局日付印のある場合は、出願期間後であっても受理します。

- ・ 出願にあたっての注意事項

(1) 出願にあたっては、入学後の研究内容について、指導を希望する教員に事前に確認してもかまいません。指導希望教員に入学後の研究内容を確認する場合は、入試課を経由して確認してください。

※数物科学専攻の志願者で本学の理学部数物科学科を卒業する者以外は、入試課を経由して、指導希望教員に必ず事前連絡を取ってください。

※化学生物環境学専攻の志願者は、必ず第1希望の指導希望教員に入学後の研究内容を確認してください。

奈良女子大学入試課

TEL 0742 - 20 - 3023

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

- (2) 出願書類等は、出願の都度提出が必要です。
- (3) 出願書類等に不備がある場合には受理しませんので、出願書類等を確認の上、出願してください。
- (4) 出願書類等を受理した後は、出願書類の追加、変更及び返却は認めません。
- (5) 出願書類等に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (6) 払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- なお、上記①又は②に該当する場合には、奈良女子大学入試課に連絡してください。
- TEL 0742 - 20 - 3023 E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp
- (7) (6)により検定料を返還するにあたっては、本学所定の方法により返還します。なお、返還には相当の期間を要しますので、あらかじめご承知おきください。
- (8) 企業等に在職している者は、勤務先の就業規則等の規定により必要な場合は、あらかじめ受験の許可を受けてください。
- (9) 大学が取得した氏名、成績及び学修状況等の個人情報、入学後の修学指導並びに学生生活支援のために必要な範囲内で利用することがあります。

② 選考方法について

入学者の選抜は、本学が実施する試験の成績及び出願書類等を総合して行います。

③ 合格発表について

合格者受験番号一覧を本学ホームページ (<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/goukaku.html>) に掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。必ず合格通知書をもって確認してください。電話等による合否に関する照会には一切応じられません。

※7月に実施する臨床心理学コースの試験について、第1次選考については、第1次合格者受験番号一覧を本学ホームページに掲載し、第1次合格者に第2次選考の案内を送付します。

※推薦選抜に合格した者は、他の選抜において合格者とはなりません。

④ 入学料及び授業料について

入学料 282,000 円〔予定額〕

授業料 267,900 円（年額 535,800 円のうち半期分）〔予定額〕

※1 入学者の入学料、授業料については、改定されることがあります。

- ※2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から改定後の授業料が適用されます。
- ※3 平成16年度から、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に履修する「長期履修学生制度」を導入しています。長期履修を認められた学生の授業料は、認められた履修期間に応じて授業料年額が異なります。
- ※4 入学時には、上記入学科、授業料のほか学生教育研究災害傷害保険料など若干の経費が必要です。

⑤ 入学手続について

入学手続の時期及びその他詳細については、合格通知と併せて通知します。

⑥ 長期履修学生制度について

職業を有している、あるいは育児、長期介護、病気等により、一般の学生に比べて研究活動・学習活動への時間数が限られるため、標準の修業年限（博士前期課程の場合2年）で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に履修する「長期履修学生制度」を導入しています。この長期履修学生として認められた場合の授業料は、標準の修業年限（2年）に支払う授業料の総額（535,800円×2年＝1,071,600円）を、認められた長期履修の期間の年数で支払うことになります。

この制度による履修を希望する者は、本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/tyoukirisyul.html>）を参照の上、申請書類を提出してください。

長期履修の申請は、出願開始前の指定期日までに行う場合と出願書類の提出と併せて行う場合により、審査結果（可否等）の通知の時期が異なります。

(1) 出願開始前の指定期日までに行う場合

審査結果（可否等）の通知を出願開始前に通知します。これを希望する者は、下表に対応する期限までに（いずれも必着）、申請書類を提出してください。

試験実施月	提出期限
7月	令和6年5月10日（金）
8月	令和6年6月7日（金）
2月	令和6年11月1日（金）

(2) 出願書類の提出と併せて行う場合

合格者には審査結果（可否等）を合格通知と併せて通知します。これを希望する者は入学志願書類と共に、申請書類を提出してください。

なお、「長期履修学生申請書」は本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/tyoukirisyul.html>）からダウンロードしたものを使用することができます。申請書をダウンロードできない場合には、入試課（E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

また、長期履修学生の申請並びに審査結果は、入学者選抜の可否に影響するものではありません。

⑦ 出願の前に相談や手続が必要な場合について

(1) 教育方法の特例措置について

「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例」の制度に基づき、本学では入学時又は入学後において学業に専念できない事情を有する者に対して、教育上特別の必要があると認められる場合で、かつ、受入側である専攻の事情や教育環境が許す場合には、その者の事情を考慮し、夜間その他特定の時間又は時期（夏季休業など）において授業又は研究指導を行います。

この制度の適用を希望する者は、出願に先立ち、入試課を経由して志望する専攻（コース）の教員に必ず相談してください。

(2) トランスジェンダー女性（MtF）の出願について

奈良女子大学大学院では、戸籍などの法的な性別だけではなく、自らの性自認に基づいて「女子」として女子大学で学ぶことを希望する人を令和3年度より受入れています。性自認が女性であるが法的な性別がそれとは異なる場合には、原則として出願受付開始の1カ月前までに下記の相談窓口までメールで申し出てください。出願を希望する場合は、面談により、出願資格の確認及び入学後の学生生活に関する相談を行います。なお、面談の申請及び面談にかかる秘密は守られ、出願後、面談の内容によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

トランスジェンダー受入相談窓口

E-mail tgsoudan@cc.nara-wu.ac.jp（電話番号なし）

出願期間等

(3) 受験上等の配慮について

病気・負傷や障害等のために、受験上及び修学上配慮を希望する場合は、事前に入試課に相談の上、出願受付開始の2週間前までに所定の手続きをしてください。相談は、電話、FAX、メール等いずれの方法でもかまいません。

また、出願後に不慮の事故等により、同様に配慮を希望するに至った場合には、直ちに入試課へ申し出の上相談してください。

必要に応じ、本学において志願者又は介護者等その事情を説明できる者と面談を行うことがあります。

奈良女子大学入試課

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL 0742 - 20 - 3023 FAX 0742 - 20 - 3354

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

なお、配慮の対象となる者は、次表のとおりです。

配慮の対象者

区 分	対 象 と な る 者
① 視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none">・ 点字による教育を受けている者・ 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者・ 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者・ 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none">・ 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者・ 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none">・ 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者・ 両上肢の機能障害が著しい者・ 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none">・ 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none">・ 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none">・ ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

⑧ 学生募集及び指導希望教員の問い合わせ先について

奈良女子大学入試課

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL 0742 - 20 - 3023

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

Ⅲ 博士前期課程の目的及び修了要件等

1. 目的

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とします。

2. 標準修業年限 2年

3. 修了要件

博士前期課程を修了するためには、当該課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格しなければいけません。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

※ 平成16年度から、職業を有している、あるいは育児、長期介護、病気等により、一般の学生に比べて研究活動・学習活動への時間数が限られるため標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に履修する「長期履修学生制度」を導入しています。

4. 進学

本学大学院の博士前期課程を修了した者は、選考の上、博士後期課程に進学することができます。

5. 博士前期課程修了者が取得できる学位

専攻名	学位に付記する専攻分野の名称	学位名
人文社会学専攻	文学, 学術	修士
言語文化学専攻		
人間科学専攻		
食物栄養学専攻	生活環境学, 学術, 家政学	
心身健康学専攻		
情報衣環境学専攻		
住環境学専攻		
生活文化学専攻	理学, 学術	
数物科学専攻		
化学生物環境学専攻		

目的等

Ⅳ 出 願 資 格

【一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜・推薦選抜】

奈良女子大学大学院が入学資格として設定している「女子」の概念（日本国籍をもつ場合は戸籍の性別が「女性」、日本国籍以外の場合は法的性別が「女性」）には、女性としての性自認を持つトランスジェンダー女性（MtF）を含みます。

1. 一般選抜

次のいずれかに該当する女子に限ります。

※ ただし、秋季（10月）入学は、令和7年3月を令和6年9月と読み替える。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注4）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（注2）
- (9) 令和7年3月末日において大学に3年以上在学（休学期間は含みません。）し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者（注3）
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和7年3月末日までに22歳に達するもの（注4）

備 考

（注1）卒業見込みで受験し、合格した者が、卒業できなかった場合は、入学を取り消します。

（注2）旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者並びに教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達したもの（令和7年3月末日までに22歳に達する者を含む。）等を示します。

（注3）出願資格(9)により出願しようとする者は、出願に先立って、本学大学院の入学資格審査を必要とします。

下記に示す提出書類等を次表に対応する期限までに（いずれも必着）、提出してください。提出書類が英語以外の外国語で記入されている場合は、和訳又は英訳を添付してください。

なお、審査結果は、出願期間の開始日までに通知します。

試験実施月	提出期限
7月	令和6年5月10日（金）
8月	令和6年6月7日（金）
2月	令和6年11月1日（金）

提出書類等〔出願資格(9)に該当する者〕	
1	資格審査申請書（大学・学部第3年次学生）【本学所定の用紙】
2	入学志望理由書【本学所定の用紙】
3	大学在学期間証明書及び成績証明書

4	卒業に必要な科目及び単位数を確認できる書類 大学・学部の履修要項等
5	現在履修中の科目及びその単位数を確認できる書類 令和7年3月末日において出願資格を満たす見込みの者のみ提出してください。
6	推薦書 数物科学専攻全コース，化学生物環境学専攻のうち生物科学コース及び環境科学コースを志望する者のみ，在籍する又は在籍した大学の学部長又は学科長等の推薦書(様式自由)を提出してください。
7	返信用封筒 「お届け先」欄に審査結果送付先を明記したレターバックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし，品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターバックプラスの「保管用シール」は返信用のため，はがさないでください。

資格審査申請書等（大学・学部第3年次学生）【本学所定の用紙】は，本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html>）からダウンロードしてください。申請書をダウンロードできない場合には，入試課（E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

出願資格(9)における優れた成績の基準は，志望する専攻により次のとおりです。

専 攻	成 績 の 基 準
人 文 社 会 学 専 攻 言 語 文 化 学 専 攻 人 間 科 学 専 攻	出願資格の申請にあたっては，次の①及び②の要件を満たしている必要があります。 ①2年次までの各年次において，卒業要件単位を40単位以上それぞれ修得していること ②2年次までの各年次において，修得した卒業要件科目の成績の平均点が，100点満点に換算して85点以上のもの（最上位の成績評価）であること なお，入学試験に合格した者であっても，次の③及び④に示す要件を入学時まで満たさない場合には，入学を許可しません。 ③3年次までに卒業要件単位の90%以上修得していること ④3年次までに修得した専門教育科目の成績の平均点が，100点満点に換算して85点以上のもの（最上位の成績評価）であること
食 物 栄 養 学 専 攻 心 身 健 康 学 専 攻 情 報 環 境 学 専 攻 住 環 境 学 専 攻 生 活 文 化 学 専 攻	出願資格の申請にあたっては，次の①及び②の要件を満たしている必要があります。 ①2年次までの各年次において，卒業要件単位を40単位以上それぞれ修得していること ②2年次までの各年次において，修得した卒業要件科目の成績の平均点が，100点満点に換算して85点以上のもの（最上位の成績評価）であること なお，入学試験に合格した者であっても，次の③及び④に示す要件を入学時まで満たさない場合には，入学を許可しません。 ③3年次までに4年次における必修単位を除いた卒業要件となる単位を全て修得していること ④3年次までに修得した専門教育科目の成績の平均点が，100点満点に換算して85点以上のもの（最上位の成績評価）であること
数 物 科 学 専 攻 化 学 生 物 環 境 学 専 攻	出願資格の申請にあたっては，次の①及び②の要件を満たしている必要があります。 ①2年次までに卒業要件となる単位を70%以上修得していること ②2年次までに修得した卒業要件となる単位の80%以上が，100点満点に換算して80点以上のもの（最上位の成績評価）であること なお，入学試験に合格した者であっても，次の③及び④に示す要件を入学時まで満たさない場合には，入学を許可しません。 ③3年次までに4年次における必修単位を除いた卒業要件となる単位を全て修得していること ④3年次までに修得した卒業要件となる単位の80%以上が，100点満点に換算して80点以上のもの（最上位の成績評価）であること

(注4) 出願資格(6)または(10)により出願しようとする者は，出願に先立って，本学大学院の入学資格審査を必要とします。

下記に示す提出書類等を次表に対応する期限までに（いずれも必着），提出してください。提出書類が英語以外の外国語で記入されている場合は，和訳又は英訳を添付してください。

なお，審査結果は，出願期間の開始日までに通知します。

試 験 実 施 月	提 出 期 限
7 月	令和6年5月10日（金）
8 月	令和6年6月7日（金）
2 月	令和6年11月1日（金）

出
願
資
格

提出書類等〔出願資格(6)または(10)に該当する者〕	
1	資格審査申請書【本学所定の用紙】
2	入学志望理由書【本学所定の用紙】
3	学修歴・研究歴等申告書【本学所定の用紙】
4	最終学校の卒業証明書及び成績証明書 他大学で研究生期間がある場合、研究生の証明書もあわせて提出してください。
5	研究計画書（様式自由）
6	学術論文，研究成果等 審査の参考となる資料があれば提出してください。
7	返信用封筒 「お届け先」欄に審査結果送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。

資格審査申請書等【本学所定の用紙】は、本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html>）からダウンロードしてください。申請書をダウンロードできない場合には、入試課（E-mail nyusika@jim.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

2. 社会人特別選抜

・趣 旨

奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科では、近年の科学技術の急速な発展と社会環境の激変に伴う人間生活に係わる諸問題の研究についての社会的要請を踏まえ、優れた研究者の養成を目指すだけでなく、高度な知識や専門的能力を必要とする社会人の再教育や学習ニーズに対する需要に応えるため、社会人特別選抜を実施します。

・出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、大学卒業等の大学院博士前期課程への出願資格取得後（次の(9)により出願する場合は最終学校卒業後）、令和7年3月末日までに**2年以上の社会経験（社会経験の内容は問いません。）を経た女子**に限り、

※ ただし、秋季（10月）入学は、令和7年3月を令和6年9月と読み替える。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注2）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（注1）
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び令和7年3月末日までに22歳に達するもの（注2）

備 考

（注1）旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達したものを示します。

（注2）出願資格(6)または(9)により出願しようとする者は、出願に先立って、本学大学院の入学資格審査を必要とします。

下記に示す提出書類等を次表に対応する期限までに（いずれも必着）、提出してください。提出書類が英語以外の外国語で記入されている場合は、和訳又は英訳を添付してください。

なお、審査結果は、出願期間の開始日までに通知します。

試験実施月	提出期限
7月	令和6年5月10日（金）
8月	令和6年6月7日（金）
2月	令和6年11月1日（金）

提出書類等〔出願資格(6)または(9)に該当する者〕	
1	資格審査申請書【本学所定の用紙】
2	入学志望理由書【本学所定の用紙】
3	学修歴・研究歴等申告書【本学所定の用紙】
4	最終学校の卒業証明書及び成績証明書 他大学で研究生期間がある場合、研究生の証明書もあわせて提出してください。
5	研究計画書（様式自由）
6	学術論文，研究成果等 審査の参考となる資料があれば提出してください。
7	返信用封筒 「お届け先」欄に審査結果送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。

資格審査申請書等【本学所定の用紙】は、本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html>）からダウンロードしてください。申請書をダウンロードできない場合には、入試課（E-mail nyusika@jim.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

3. 外国人留学生特別選抜

日本国の「出入国管理及び難民認定法」の定めるところにより在留資格「留学」（又は「留学」に変更できる在留資格）を有する外国人，又は入学時に取得できる見込みの外国人で，次のいずれかに該当する女子に限ります。

※ ただし，秋季（10月）入学は，令和7年3月を令和6年9月と読み替える。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者（注2）
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，22歳に達したものと及び令和7年3月末日までに22歳に達するもの（注2）
（外国において，大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国で大学教育を修了した者についても，個別の入学資格審査を必要とします。）

出願資格

備考

(注1) 卒業見込みで受験し、合格した者が、卒業できなかった場合は、入学を取り消します。

(注2) 出願資格(5)または(8)により出願しようとする者は、出願に先立って、本学大学院の入学資格審査を必要とします。

下記に示す提出書類等を次表に対応する期限までに(いずれも必着)、提出してください。提出書類が英語以外の外国語で記入されている場合は、和訳又は英訳を添付してください。

なお、審査結果は、出願期間の開始日までに通知します。

試験実施月	提出期限
7月	令和6年5月10日(金)
8月	令和6年6月7日(金)
2月	令和6年11月1日(金)

提出書類等〔出願資格(5)または(8)に該当する者〕	
1	資格審査申請書【本学所定の用紙】
2	入学志望理由書【本学所定の用紙】
3	学修歴・研究歴等申告書【本学所定の用紙】
4	最終学校の卒業証明書及び成績証明書 他大学で研究生期間がある場合、研究生の証明書もあわせて提出してください。
5	研究計画書(様式自由)
6	学術論文、研究成果等 審査の参考となる資料があれば提出してください。
7	返信用封筒 「お届け先」欄に審査結果送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。

資格審査申請書等【本学所定の用紙】は、本学ホームページ (<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html>) からダウンロードしてください。申請書をダウンロードできない場合には、入試課 (E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp) に連絡してください。

4. 推薦選抜(令和6年10月入学については、化学生物環境学専攻化学コースのみ実施し、令和7年4月入学については、情報衣環境学専攻生活情報通信科学コース、数物科学専攻全コース及び化学生物環境学専攻全コースが実施します。)

・趣 旨

専攻	趣 旨
情報衣環境学専攻 生活情報通信科学コース	情報衣環境学専攻生活情報通信科学コースでは、情報科学やそれに関連した学際領域分野において高い研究能力を持ち、また、その専門知識や技術を基盤に人々の生活や社会の問題を情報処理の問題に翻訳しながら解決できる創造力と応用力、国際的コミュニケーション能力を身につけ、社会に貢献できる人材の養成を目指しています。このような目標に向けて、情報科学等の専門分野において高い学力と優れた資質を持つ学生を対象に、推薦による選抜試験を実施します。
数物科学専攻 全コース	高度に細分化された自然科学において新しい知見を生み出すためには、幅広い興味と多様な能力を持つ人材が必要となっています。 数物科学専攻では、このような資質を持ち、研究意欲の強い優秀な学力を有する学生を広く募集するために、推薦による選抜試験を実施します。
化学生物環境学専攻 化学コース	化学生物環境学専攻化学コースでは、先端基礎化学やそれに関連した学際領域分野において高い研究能力を持ち、また、その専門知識や技術を基盤に国内外の様々な方面において活躍できる人材の育成を目指しています。このような目標に向けて、化学の専門分野において高い学力と優れた資質を持つ学生を広く募集するため、推薦による選抜試験を実施します。

化学生物環境学専攻 生物科学コース	化学生物環境学専攻生物科学コースでは、生物科学やそれに関連した学際領域分野において高い研究能力と意欲を持ち、その専門知識や技術を基盤に国内外の様々な方面において活躍できる人材の育成を目指しています。このような目標に向けて、生物科学の専門分野において高い学力と優れた資質を持つ学生を対象に、推薦による選抜試験を実施します。
化学生物環境学専攻 環境科学コース	化学生物環境学専攻環境科学コースでは、環境科学やそれに関連した学際領域分野において高い研究能力を持ち、また、その専門知識や技術を基盤に国内外の様々な方面において活躍できる人材の育成を目指しています。このような目標に向けて、環境科学の専門分野において高い学力と優れた資質を持ち、研究意欲の強い学生を広く募集するため、推薦による選抜試験を実施します。

・出願資格

次のいずれかに該当する女子で、合格した場合には入学することを確約できる者に限ります。

※ ただし、化学コースの秋季（10月）入学は、令和7年3月を令和6年9月と読み替える。

なお、(1)から(8)までについては、推薦選抜を実施するコースすべてに該当し、(9)から(10)については化学コースのみに該当する出願資格です。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（注4）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（注2）
- (9) 令和7年3月末日において大学に3年以上在学（休学期間は含みません。）し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認めた者（注3）
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和7年3月末日までに22歳に達する者（注4）

備考

(注1) 卒業見込みで受験し、合格した者が、卒業できなかった場合は、入学を取り消します。

(注2) 旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者並びに教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者（令和7年3月末日までに22歳に達する者を含む。）等を示します。

(注3) 出願資格(9)により出願しようとする者は、出願に先立って、本学大学院の入学資格審査を必要とします。

次に示す提出書類等を令和6年5月10日（金）までに（必着）、奈良女子大学入試課に提出してください。提出書類が英語以外の外国語で記入されている場合は、和訳又は英訳を添付してください。

なお、審査結果は、出願期間の開始日までに通知します。

出願資格

提出書類等〔出願資格(9)に該当する者〕	
1	資格審査申請書（大学・学部第3年次学生）【本学所定の用紙】
2	入学志望理由書【本学所定の用紙】
3	大学在学期間証明書及び成績証明書
4	卒業に必要な科目及び単位数を確認できる書類 大学・学部の履修要項等
5	現在履修中の科目及びその単位数を確認できる書類 令和7年3月末日において出願資格を満たす見込みの者のみ提出してください。
6	返信用封筒 「お届け先」欄に審査結果送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。

資格審査申請書等（大学・学部第3年次学生）【本学所定の用紙】は、本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html>）からダウンロードしてください。申請書をダウンロードできない場合には、入試課（E-mail nyusika@jimuu.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

出願資格(9)の申請にあたっては、次の①及び②の要件を満たしている必要があります。

- ① 2年次までに卒業要件となる単位を70%以上修得していること
- ② 2年次までに修得した卒業要件となる単位の80%以上が、100点満点に換算して80点以上のもの（最上位の成績評価）であること

なお、入学試験に合格した者であっても、次の③及び④に示す要件を入学時までに満たさない場合には、入学を許可しません。

- ③ 3年次までに4年次における必修単位を除いた卒業要件となる単位を全て修得していること
- ④ 3年次までに修得した卒業要件となる単位の80%以上が、100点満点に換算して80点以上のもの（最上位の成績評価）であること

(注4) 出願資格(6)または(10)により出願しようとする者は、出願に先立って、本学大学院の入学資格審査を必要とします。

次に示す提出書類等を令和6年5月10日（金）までに（必着）、奈良女子大学入試課に提出してください。提出書類が英語以外の外国語で記入されている場合は、和訳又は英訳を添付してください。

なお、審査結果は、出願期間の開始日までに通知します。

提出書類等〔出願資格(6)または(10)に該当する者〕	
1	資格審査申請書【本学所定の用紙】
2	入学志望理由書【本学所定の用紙】
3	学修歴・研究歴等申告書【本学所定の用紙】
4	最終学校の卒業証明書及び成績証明書 他大学で研究生期間がある場合、研究生の証明書もあわせて提出してください。
5	研究計画書（様式自由）
6	学術論文、研究成果等 審査の参考となる資料があれば提出してください。
7	返信用封筒 「お届け先」欄に審査結果送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。

資格審査申請書等【本学所定の用紙】は、本学ホームページ（<http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html>）からダウンロードしてください。申請書をダウンロードできない場合には、入試課（E-mail nyusika@jimuu.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

V 出願書類・試験科目等（専攻・選抜別）

【人文社会学専攻 / 言語文化学専攻 / 人間科学専攻】

① 一般選抜

・出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙 ・ 検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔22～24ページ（注3）（注4）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔22～24ページ（注3）（注4）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	学 士 の 学 位 証 明 書 等	出願資格の(2)(22ページ)に該当する者のみ提出 大学改革支援・学位授与機構（または大学評価・学位授与機構）により、学士の学位を授与された者（見込みの者）は、学位授与（見込）証明書を提出してください。
6	教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	出願資格の(8)(22ページ(注2)参照)に該当する者のみ提出してください。
7	論 文 等	以下の表による（※）
8	宛 名 票（日本国内の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と）	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
9	返 信 用 封 筒（日本国内の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は8月試験：令和6年7月30日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※ 7の「論文等」は、次のとおり志望する専攻・コースごとに定める卒業論文等（写しでも可）を提出してください。

専攻	コース	卒業論文等の内容
人文社会学専攻	歴史学コース	志望コースに関連する卒業論文（提出予定の卒業論文でも可。その場合、提出予定日を表紙に明記）又は志望コースに関連する論文（12000～20000字程度）
	地理学コース	志望理由も含めた入学後の研究計画書（2000字程度） さらに、志望コースに関連する論文があれば、提出することができます。
	社会学コース	志望理由も含めた入学後の研究計画書（4000字程度） さらに、志望コースに関連する論文があれば、提出することができます。
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース	志望コースに関連する卒業論文（※）又は卒業論文作成に向けての研究計画書（4000字程度）。ただし、該当するものがない場合に限り入学後の研究計画書（4000字程度）でも可。 ※ 日本語以外の卒業論文の場合は、日本語の要旨（800字程度）も提出。
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース	志望コースに関連する卒業論文（提出予定の卒業論文でも可。その場合、提出予定日を表紙に明記）又は入学後の研究計画書（4000字程度）
人間科学専攻	教育学・人間学コース	志望コースに関連する卒業論文（提出予定の卒業論文でも可。その場合、提出予定日を表紙に明記）又は入学後の研究計画書（4000字程度）
	心理学コース	志望理由も含めた入学後の研究計画書（2000字程度） さらに、志望コースに関連する論文があれば、提出することができます。

・試験科目等

専攻	コース	試験科目		
		専門科目	外国語科目	口述試験
人文社会学専攻	歴史学コース	志望するコースの教育研究分野に関する問題	英語 試験時間 13:00～15:00	開始時刻 15:15～
	地理学コース			
	社会学コース			
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース	試験時間 10:00～12:00	英語 試験時間 13:00～15:00	開始時刻 13:00～
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース			
人間科学専攻	教育学・人間学コース	試験時間 13:00～15:00	英語 試験時間 13:00～15:00	開始時刻 15:15～
	心理学コース			

※ 外国語科目試験においては、紙の辞書の使用は認めますが、電子辞書等、辞書機能を有する電子機器の使用は認めません。

※ 口述試験は、志望するコースについて行います。なお、口述試験を受験するにあたっては、出願時に提出した卒業論文又は研究計画書等の写しを持参してください。

・配点

専攻	コース	試験科目			計
		専門科目	外国語科目	口述試験	
人文社会学専攻	歴史学コース	50点	50点	100点	200点
	地理学コース	50点	50点	100点	200点
	社会学コース	70点	70点	60点	200点
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース	100点	-	100点	200点
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース	100点	-	100点	200点
人間科学専攻	教育学・人間学コース	50点	50点	100点	200点
	心理学コース	100点	-	100点	200点

② 社会人特別選抜

・出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出願書類		備考
1	入学志願票	本学所定の用紙
2	検定料納付確認書・受験票・写真票	本学所定の用紙 ・検定料（30,000円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒業証明書	・出身大学等が発行したもの ・令和4（2022）年度以降に資格審査〔24～25ページ（注2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成績証明書	・出身大学等が発行したもの ・令和4（2022）年度以降に資格審査〔24～25ページ（注2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	学士の学位証明書	出願資格の(2)(24ページ)に該当する者のみ提出してください。
6	教育職員免許状授与証明書	出願資格の(8)(24ページ(注1)参照)に該当する者のみ提出してください。
7	研究計画書	4000字程度（表紙を付け綴じたもの） さらに、志望分野に関連のある内容の論文（卒業論文を含む。）があれば代表的なものを1点提出してください。
8	宛名票（日本国内の連絡先を記入すること）	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
9	返信用封筒（日本国内の連絡先を記入すること）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は8月試験：令和6年7月30日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

出願書類等

・試験科目等

専攻	コース	試験科目	
		専門科目	口述試験
人文社会学専攻	歴史学コース	志望するコースの教育研究分野に関する問題 試験時間 10:00～12:00	開始時刻 13:00～
	地理学コース		
	社会学コース		
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース		
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース		
人間科学専攻	教育学・人間学コース		
	心理学コース		

※ 口述試験は、主として志望するコースの志望動機、過去の研究歴等について行います。

※ 口述試験を受験するにあたっては、出願時に提出した研究計画書及び論文の写しを持参してください。

・配点

専攻	コース	試験科目		計
		専門科目	口述試験	
人文社会学専攻	歴史学コース	100点	100点	200点
	地理学コース			
	社会学コース			
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース			
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース			
人間科学専攻	教育学・人間学コース			
	心理学コース			

出願書類等

③ 外国人留学生特別選抜

・ 出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙 ・ 検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm×横 3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査〔25～26 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査〔25～26 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	論 文 等	・ 志望コースに関連する卒業論文（コピーでも可）（※） ・ 上記の卒業論文についての日本語の要約（4000 字程度） （いずれも表紙を付け綴じたものを提出してください。）
6	住 民 票 の 写 し （ 省 略 不 可 ） 等	現在日本に在住している外国人にあっては市区町村発行の「住民票の写し（国籍・地域、在留資格、在留期間の満了の日等、記載事項の省略は不可）」を、それ以外の外国人にあってはパスポート（国籍のわかる箇所）のコピーを提出してください。
7	宛 名 票（日本国内の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と）	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
8	返信用封筒（日本国内の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は 8 月試験：令和 6 年 7 月 30 日、2 月試験：令和 7 年 1 月 20 日発送予定のため、予め 12 桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から 1 週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

（注）出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書には和訳又は英訳を添付してください。

※ 5 の「論文等」の備考欄に記載の「志望コースに関連する卒業論文」を提出できない場合には、次のとおり志望する専攻・コースごとに定める論文又は研究計画書（いずれも表紙を付け綴じたもの）を提出してください。
また、志望コースに関連のある内容の論文を提出する場合には、日本語の要約（4000 字程度、表紙を付け綴じたもの）も併せて提出してください。

専攻	コ ー ス	論 文 又 は 研 究 計 画 書 の 内 容
人 文 社 会 学 専 攻	歴 史 学 コ ー ス	日本語による志望コースに関連のある内容の論文（12000～20000 字程度）
	地 理 学 コ ー ス	日本語（または英語）による志望理由を含めた入学後の研究計画書（日本語の場合 2000 字程度、英語の場合 1000 語程度） さらに、日本語（または英語）による志望コースに関連のある論文等があれば提出してください。
	社 会 学 コ ー ス	日本語による志望理由を含めた入学後の研究計画書（4000 字程度） さらに、日本語による志望コースに関連のある論文があれば提出してください。
言 語 文 化 学 専 攻	日 本 ア ジ ア 言 語 文 化 学 コ ー ス	日本語による入学後の研究計画書（4000 字程度） さらに、志望コースに関連のある論文があれば、代表的なものを 1 点提出することができます。 ※ 日本語以外の卒業論文でも可。その際は、日本語の要旨（800 字程度）を提出。
	ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 言 語 文 化 学 コ ー ス	日本語による入学後の研究計画書（4000 字程度）

出 願 書 類 等

専攻	コース	論文又は研究計画書の内容
人間科学専攻	教育学・人間学コース	日本語による入学後の研究計画書（4000字程度）
	心理学コース	日本語による志望理由を含めた入学後の研究計画書（2000字程度） さらに、日本語による志望コースに関連のある論文等があれば提出してください。

・試験科目等

専攻	コース	試験科目	
		専門科目	口述試験
人文社会学専攻	歴史学コース	志望するコースの教育研究分野に関する問題 試験時間 10:00～12:00	開始時刻 13:00～
	地理学コース	志望するコースの教育研究分野に関する小論文（英語での記述も可） 試験時間 10:00～12:00	
	社会学コース	志望するコースの教育研究分野に関する問題 試験時間 10:00～12:00	
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース	志望するコースの教育研究分野に関する問題	
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース		
人間科学専攻	教育学・人間学コース	試験時間 10:00～12:00	
	心理学コース		

※ 口述試験は、志望するコースについて行います。なお、口述試験を受験するにあたっては、出願時に提出した卒業論文又は研究計画書等の写しを持参してください。

・配点

専攻	コース	試験科目		計
		専門科目	口述試験	
人文社会学専攻	歴史学コース	100点	100点	200点
	地理学コース			
	社会学コース			
言語文化学専攻	日本アジア言語文化学コース			
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース			
人間科学専攻	教育学・人間学コース			
	心理学コース			

出願書類等

【食物栄養学専攻 / 心身健康学専攻 / 情報衣環境学専攻 / 住環境学専攻 / 生活文化学専攻】

① 一般選抜

・ 出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙 ・ 検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm×横 3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4 (2022) 年度以降に資格審査 [22～24 ページ (注 3) (注 4) 参照] により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4 (2022) 年度以降に資格審査 [22～24 ページ (注 3) (注 4) 参照] により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	TOEFL 受験者用控えスコア票又は TOEIC (デジタル) 公式認定証 (該 当 者 の み)	・ 食物栄養学専攻については、英語の筆記試験を選択しない者のみ提出してください。心身健康学専攻の生活健康学コース、情報衣環境学専攻の衣環境学コース、住環境学専攻及び生活文化学専攻については、必ず提出する必要があります。 ・ 心身健康学専攻の臨床心理学コース、スポーツ科学コース及び情報衣環境学専攻の生活情報通信科学コース志願者は、提出する必要はありません。 ・ TOEFL の場合は受験者用控えスコア票 (Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report) の原本とコピーを、TOEIC (Listening & Reading) の場合は公式認定証 (Official Score Certificate) の原本とコピー又はデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を A 4 判で印刷したものを提出してください。ただし、試験前日 (土日祝にあたる場合はその前日) までに原本の提出はできるが、出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合は、試験前日 (土日祝にあたる場合はその前日) までに、原本とコピーを提出してください。(原本はスコアの確認後、受験票の送付とともに返却します。) ・ TOEFL 及び TOEIC の受験日は問いません。(提出後のスコアの変更は認めません。) ・ 団体特別受験制度 (TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP) によるスコアの提出は認めません。※ 1 ・ スコアは最も有利と思うもの 1 つを提出してください。
6	学 士 の 学 位 証 明 書 等	出願資格の(2)(22 ページ) に該当する者のみ提出 大学改革支援・学位授与機構 (または大学評価・学位授与機構) により、学士の学位を授与された者 (見込みの者) は、学位授与 (見込) 証明書を提出してください。
7	教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	出願資格の(8)(22 ページ(注 2)参照)に該当する者のみ提出してください。
8	志 望 理 由 書 (情 報 衣 環 境 学 専 攻 生 活 情 報 通 信 科 学 コース)	本学ホームページ (http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html) から所定の用紙をダウンロードしてください。
9	研 究 希 望 調 査 書 (心 身 健 康 学 専 攻 臨 床 心 理 学 コース、 ス ポー ツ 科 学 コース 及 び 生 活 文 化 学 専 攻)	本学ホームページ (http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html) から所定の用紙をダウンロードしてください。

出願書類等

10	研究論文等 (心身健康学専攻臨床心理学コース、スポーツ科学コース及び生活文化学専攻)	研究論文(卒業論文)又はその要旨等を参考として提出することができます。
11	宛名票(日本国内の連絡先を記入すること)	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
12	返信用封筒(日本国内の連絡先を記入すること)	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※1 令和6(2024)年度実施入試については、TOEFL iBT® Special Home Edition 又は TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

・試験科目等

専攻・コース			試験科目			
			専門科目 ※1	英語	口述試験	
食物栄養学専攻			専門科目から2分野選択 試験時間 10:00～12:00	試験時間 13:00～14:00	開始時刻 14:20～	
心身健康学専攻	臨床心理学コース ※2	7月試験	(第1次選考) 令和6年7月6日 試験時間 10:00～12:00	/	(第2次選考) 令和6年8月20日 開始時刻 9:00～	
		2月試験	試験期日： 令和7年2月1日 試験時間 10:00～12:00		試験期日： 令和7年2月1日 開始時刻 14:00～ (予備日： 令和7年2月2日)	
	生活健康学コース		コースが指定する専門科目から2分野を受験 試験時間 10:00～12:00		/	開始時刻 13:00～
	スポーツ科学コース		志望するコースの教育研究分野に関する問題 試験時間 10:00～12:00			
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	コースが指定する専門科目を受験 試験時間 10:00～12:00	/	試験時間 13:00～14:00 ※3	開始時刻 15:00～	
	生活情報通信科学コース					
住環境学専攻			専門科目から2科目選択 試験時間 10:00～12:00	/	開始時刻 13:00～	
生活文化学専攻			専門科目から1科目選択 試験時間 10:00～12:00			

※ 試験科目(専門科目、英語及び口述試験)において、日本語による試問ではなく英語による試問を希望する者は、入学志願票所定欄の該当箇所を○で囲んでください。(スポーツ科学コース及び生活情報通信科学コースは除く。)

- ※1 各専攻・コースが設定する「専門科目」の内容及び選択方法は、58 ページの『②「専門科目」の受験について』を参照してください。また、臨床心理学コース及びスポーツ科学コースの専門科目には、専門領域に関する英語力を問う設問が含まれます。
- ※2 臨床心理学コースにおいて、7月試験については、第1次選考に専門科目を実施し、第1次選考の合格者に対して第2次選考に口述試験を実施します。また、2月試験における口述試験については、志願状況によっては、予備日にも実施することがあります。該当者には、受験票の送付とともに連絡します。
- ※3 生活情報通信科学コースの英語の試験では紙の一般的な語学用英語辞書の使用を認めます。電子辞書等、辞書機能を有する電子機器の使用は認めません。

・配点

専攻・コース	TOEFL 又は TOEIC ※1	英語 ※2	試験科目		計
			専門科目	口述試験	
食物栄養学専攻	200点		400点	100点	700点
心身健康学専攻	臨床心理学コース		400点	200点	600点
	生活健康学コース	200点	400点	100点	700点
	スポーツ科学コース		100点	100点	200点
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	200点	200点	100点	500点
	生活情報通信科学コース			100点	300点
住環境学専攻	200点		400点	100点	700点
生活文化学専攻	200点		300点	200点	700点

- ※1 TOEIC と TOEFL のスコア換算は、「TOEIC テストのスコア × 0.348 + 296 = TOEFL PBT スコア」の換算式とします。なお、主な換算表は下表のとおりです。

TOEFL			TOEIC テスト	換算後の成績 (200点満点)
iBT	PBT	CBT		
41	437	123	400	78
52	470	150	500	108
62	503	177	600	137
76	540	207	700	170
89	573	230	800	200

- ※2 食物栄養学専攻については、英語の筆記試験を選択しない者のみ TOEFL 又は TOEIC のスコアを利用します。

② 社会人特別選抜

・出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出願書類		備考
1	入学志願票	本学所定の用紙
2	検定料納付確認書・受験票・写真票	<p>本学所定の用紙</p> <p>・検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。</p> <p>なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。</p> <p>・出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm × 横 3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。</p>
3	卒業証明書	<p>・出身大学等が発行したもの</p> <p>・令和 4（2022）年度以降に資格審査〔24～25 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。</p>
4	成績証明書	<p>・出身大学等が発行したもの</p> <p>・令和 4（2022）年度以降に資格審査〔24～25 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。</p>

出願書類等

5	TOEFL 受験者用控えスコア票又は TOEIC (デジタル) 公式認定証 (該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・食物栄養学専攻については、英語の筆記試験を選択しない者のみ提出してください。心身健康学専攻の生活健康学コース、情報衣環境学専攻の衣環境学コースについては、必ず提出する必要があります。 ・心身健康学専攻の臨床心理学コース、スポーツ科学コース、情報衣環境学専攻の生活情報通信科学コース、住環境学専攻及び生活文化学専攻志願者は、提出する必要はありません。 ・TOEFL の場合は受験者用控えスコア票 (Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report) の原本とコピーを、TOEIC (Listening & Reading) の場合は公式認定証 (Official Score Certificate) の原本とコピー又はデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を A 4 判で印刷したものを提出してください。ただし、試験前日 (土日祝にあたる場合はその前日) までに原本の提出はできるが、出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したもので提出可能とします。その場合は、試験前日 (土日祝にあたる場合はその前日) までに、原本とコピーを提出してください。 (原本はスコアの確認後、受験票の送付とともに返却します。) ・TOEFL 及び TOEIC の受験日は問いません。(提出後のスコアの変更は認めません。) ・団体特別受験制度 (TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP) によるスコアの提出は認めません。※ 1 ・スコアは最も有利と思うもの 1 つを提出してください。
6	学士の学位証明書	出願資格の(2)(24 ページ) に該当する者のみ提出してください。
7	教育職員免許状授与証明書	出願資格の(8)(24 ページ(注 1)参照)に該当する者のみ提出してください。
8	志望理由書 (情報衣環境学専攻生活情報通信科学コース)	本学ホームページ (http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html) から所定の用紙をダウンロードしてください。
9	研究希望調書 (心身健康学専攻臨床心理学コース、スポーツ科学コース及び生活文化学専攻)	本学ホームページ (http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html) から所定の用紙をダウンロードしてください。
10	研究論文等	本人の社会経験を示しうる技術報告、実用新案、特許及び学習能力を示しうる研究論文 (卒業論文) 又はその要旨等を参考として提出することができます。
11	宛名票 (日本国内の連絡先を記入すること)	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
12	返信用封筒 (日本国内の連絡先を記入すること)	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※ 1 令和 6 (2024) 年度実施入試については、TOEFL iBT® Special Home Edition 又は TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

・試験科目等

専攻・コース			試験科目		
			専門科目 ※1	英語	口述試験
食物栄養学専攻			専門科目から2分野選択 試験時間 10:00～12:00	試験時間 13:00～14:00	開始時刻 14:20～
心身健康学専攻	臨床心理学コース ※2	7月試験	(第1次選考) 令和6年7月6日 試験時間 10:00～12:00		(第2次選考) 令和6年8月20日 開始時刻 9:00～
		2月試験	試験期日: 令和7年2月1日 試験時間 10:00～12:00		試験期日: 令和7年2月1日 開始時刻 14:00～ (予備日: 令和7年2月2日)
	生活健康学コース		コースが指定する専門科目から2分野を受験 試験時間 10:00～12:00		開始時刻 13:00～
	スポーツ科学コース		志望するコースの教育研究分野に関する問題 試験時間 10:00～12:00		
情報衣環境学専攻	衣環境学コース		コースが指定する専門科目を受験 試験時間 10:00～12:00	開始時刻 15:00～	
	生活情報通信科学コース		小論文 試験時間 13:00～14:00		
住環境学専攻			専門科目から2科目選択 試験時間 10:00～12:00	開始時刻 13:00～	
生活文化学専攻			専門科目から1科目選択 試験時間 10:00～12:00		

※ 試験科目(専門科目, 英語及び口述試験)において, 日本語による試問ではなく英語による試問を希望する者は, 入学志願票所定欄の該当箇所を○で囲んでください。(スポーツ科学コース及び生活情報通信科学コースは除く。)

※1 各専攻・コースが設定する「専門科目」の内容及び選択方法は, 58 ページの『②「専門科目」の受験について』を参照してください。また, 臨床心理学コース及びスポーツ科学コースの専門科目には, 専門領域に関する英語力を問う設問が含まれます。

※2 臨床心理学コースにおいて, 7月試験については, 第1次選考に専門科目を実施し, 第1次選考の合格者に対して第2次選考に口述試験を実施します。また, 2月試験における口述試験については, 志願状況によっては, 予備日にも実施することがあります。該当者には, 受験票の送付とともに連絡します。

・配点

専攻・コース		TOEFL又はTOEIC ※1	英語 ※2	試験科目		計
				専門科目	口述試験	
食物栄養学専攻			200点	400点	400点	1000点
心身健康学専攻	臨床心理学コース			400点	400点	800点
	生活健康学コース	200点		400点	400点	1000点
	スポーツ科学コース			100点	100点	200点
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	200点		200点	100点	500点
	生活情報通信科学コース			100点	100点	200点
住環境学専攻				400点	400点	800点
生活文化学専攻				200点	200点	400点

出願書類等

※1 TOEIC と TOEFL のスコア換算は、「TOEIC テストのスコア × 0.348 + 296 = TOEFL PBT スコア」の換算式とします。なお、主な換算表は下表のとおりです。

TOEFL			TOEIC テスト	換算後の成績 (200 点満点)
iBT	PBT	CBT		
41	437	123	400	78
52	470	150	500	108
62	503	177	600	137
76	540	207	700	170
89	573	230	800	200

※2 食物栄養学専攻については、英語の筆記試験を選択しない者のみ TOEFL 又は TOEIC のスコアを利用します。

③ 外国人留学生特別選抜

・ 出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

（注）出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書には和訳又は英訳を添付してください。

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	<p>本学所定の用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 ・ なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm × 横 3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査〔25～26 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査〔25～26 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	TOEFL 受験者用控えスコア 票又は TOEIC (デジタル) 公式認定証 (該 当 者 の み)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物栄養学専攻については、英語の筆記試験を選択しない者のみ提出してください。心身健康学専攻の生活健康学コース、情報衣環境学専攻の衣環境学コース及び生活文化学専攻については、必ず提出する必要があります。 ・ 心身健康学専攻の臨床心理学コース、スポーツ科学コース、情報衣環境学専攻の生活情報通信科学コース及び住環境学専攻志願者は、提出する必要はありません。 ・ TOEFL の場合は受験者用控えスコア票（Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report）の原本とコピーを、TOEIC (Listening & Reading) の場合は公式認定証（Official Score Certificate）の原本とコピー又はデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を A 4 判で印刷したものを提出してください。ただし、試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに原本の提出はできるが、出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合は、試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに、原本とコピーを提出してください。（原本はスコアの確認後、受験票の送付とともに返却します。） ・ TOEFL 及び TOEIC の受験日は問いません。（提出後のスコアの変更は認めません。） ・ 団体特別受験制度（TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP）によるスコアの提出は認めません。※ 1 ・ スコアは最も有利と思うもの 1 つを提出してください。
6	日 本 語 能 力 確 認 書 類	日本語能力を確認できる書類があれば提出してください。
7	住 民 票 の 写 し (省 略 不 可) 等	現在日本に在住している外国人にとっては市区町村発行の「住民票の写し（国籍・地域、在留資格、在留期間の満了の日等、記載事項の省略は不可）」を、それ以外の外国人にとってはパスポート（国籍のわかる箇所）のコピーを提出してください。

8	志望理由書 (情報衣環境学専攻生活情報通信科学コース)	本学ホームページ (http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html) から所定の用紙をダウンロードしてください。
9	研究希望調書 (心身健康学専攻臨床心理学コース、スポーツ科学コース及び生活文化学専攻)	本学ホームページ (http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html) から所定の用紙をダウンロードしてください。
10	研究論文等 (心身健康学専攻臨床心理学コース、スポーツ科学コース及び生活文化学専攻)	研究論文(卒業論文)又はその要旨等を参考として提出することができます。
11	宛名票(日本国内の連絡先を記入すること)	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
12	返信用封筒(日本国内の連絡先を記入すること)	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※1 令和6(2024)年度実施入試については、TOEFL iBT® Special Home Edition 又は TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

・試験科目等

専攻・コース			試験科目			
			専門科目 ※1	英語	口述試験	
食物栄養学専攻			専門科目から2分野選択 試験時間 10:00～12:00	試験時間 13:00～14:00	開始時刻 14:20～	
心身健康学専攻	臨床心理学コース ※2	7月試験	(第1次選考) 令和6年7月6日 試験時間 10:00～12:00	/	(第2次選考) 令和6年8月20日 開始時刻 9:00～	
		2月試験	試験期日： 令和7年2月1日 試験時間 10:00～12:00		試験期日： 令和7年2月1日 開始時刻 14:00～ (予備日： 令和7年2月2日)	
	生活健康学コース		コースが指定する専門科目から2分野を受験 試験時間 10:00～12:00		/	開始時刻 13:00～
	スポーツ科学コース		志望するコースの教育研究分野に関する問題 試験時間 10:00～12:00			
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	コースが指定する専門科目を受験 試験時間 10:00～12:00	/	試験時間 13:00～14:00 ※3	開始時刻 15:00～	
	生活情報通信科学コース					
住環境学専攻			専門科目から2科目選択 試験時間 10:00～12:00	/	開始時刻 13:00～	
生活文化学専攻			専門科目から1科目選択 試験時間 10:00～12:00			

※ 試験科目(専門科目、英語及び口述試験)において、日本語による試問ではなく英語による試問を希望する者は、入学志願票所定欄の該当箇所を○で囲んでください。(スポーツ科学コース及び生活情報通信科学コースは除く。)

出願書類等

- ※1 各専攻・コースが設定する「専門科目」の内容及び選択方法は、58 ページの『②「専門科目」の受験について』を参照してください。また、臨床心理学コース及びスポーツ科学コースの専門科目には、専門領域に関する英語力を問う設問が含まれます。
- ※2 臨床心理学コースにおいて、7月試験については、第1次選考に専門科目を実施し、第1次選考の合格者に対して第2次選考に口述試験を実施します。また、2月試験における口述試験については、志願状況によっては、予備日にも実施することがあります。該当者には、受験票の送付とともに連絡します。
- ※3 生活情報通信科学コースの英語の試験では紙の一般的な語学用英語辞書の使用を認めます。電子辞書等、辞書機能を有する電子機器の使用は認めません。

・配点

専攻・コース	TOEFL 又は TOEIC ※1	英語 ※2	試験科目		計
			専門科目	口述試験	
食物栄養学専攻	200点		400点	200点	800点
心身健康学専攻	臨床心理学コース		400点	200点	600点
	生活健康学コース	200点	400点	200点	800点
	スポーツ科学コース		100点	100点	200点
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	200点	200点	100点	500点
	生活情報通信科学コース		100点	100点	300点
住環境学専攻			400点	200点	600点
生活文化学専攻	200点		300点	300点	800点

- ※1 TOEIC と TOEFL のスコア換算は、「TOEIC テストのスコア × 0.348 + 296 = TOEFL PBT スコア」の換算式とします。なお、主な換算表は下表のとおりです。

TOEFL			TOEIC テスト	換算後の成績 (200点満点)
iBT	PBT	CBT		
41	437	123	400	78
52	470	150	500	108
62	503	177	600	137
76	540	207	700	170
89	573	230	800	200

- ※2 食物栄養学専攻については、英語の筆記試験を選択しない者のみ TOEFL 又は TOEIC のスコアを利用します。

④ 推薦選抜（情報衣環境学専攻生活情報通信科学コースが7月試験時に実施します）

・出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙 ・ 検定料（30,000円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	推 薦 書	・ 書式自由（本学の用紙を使用する場合は、本学ホームページ（ http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html ）からダウンロードしてください。） ・ 奈良女子大学生生活環境学部情報衣環境学科生活情報通信科学コースに在学する者は、指導教員の推薦書（厳封したもの）を提出してください。 ・ 奈良女子大学生生活環境学部情報衣環境学科生活情報通信科学コースに在学する者以外は、出身大学の指導教員、又は志願者の資質を十分理解している所属学科等の教員による推薦書（厳封したもの）を提出してください。 ・ 志願者の情報科学における優れた学力と研究意欲について、客観的な資料に基づき、具体的に記載してください。また英語能力（読解・英作文）についても具体的に記載してください。
4	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔27～28ページ（注4）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
5	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔27～28ページ（注3）（注4）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
6	学 士 の 学 位 証 明 書	出願資格の(2)(27ページ)に該当する者のみ提出してください。 大学改革支援・学位授与機構（または大学評価・学位授与機構）により、学士の学位を授与された者（見込みの者）は、学位授与（見込）証明書を提出してください。
7	教育職員免許状授与証明書	出願資格の(8)(27ページ(注2)参照)に該当する者のみ提出してください。
8	志 望 理 由 書	本学ホームページ（ http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html ）から所定の用紙をダウンロードしてください。
9	論 文 等	・ 卒業論文（写しでも可）又は卒業論文に代わる学術論文若しくは研究計画書（研究計画書の場合は、図表を含めA4用紙で10頁以内とし、これまでに何を勉強してきたかを含めて、卒業研究の具体的な内容と到達目的を記載し、さらに修士での研究計画をできるだけ具体的に書くこと。）
10	宛 名 票（日本国内の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と）	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
11	返信用封筒（日本国内の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

・試験科目等

コース	試験科目	配点	試験時間	備 考
生活情報通信 科学コース	口述試験	100点	15:00～	・ 提出した卒業論文、学術論文又は研究計画書を基に、研究内容に関して10分程度の発表を行った後に、質疑応答を行います。 ・ 液晶プロジェクターを使用することもできます。

出
願
書
類
等

【数物科学専攻（数学コース，物理学コース，数物連携コース）】
 【化学生物環境学専攻（化学コース，生物科学コース，環境科学コース）】

① 一般選抜

・ 出願書類（別に指定のあるもの以外は，必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙 ・ 検定料（30,000 円）は，郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により，納付してください。納付後は，「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて，提出してください。 なお，納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm×横 3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査 [22～24 ページ（注 3）（注 4）参照] により出願資格を認められた者は不要です。ただし，資格審査時に卒業見込証明書を提出し，出願時に卒業済の場合は，卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査 [22～24 ページ（注 3）（注 4）参照] により出願資格を認められた者は不要です。ただし，資格審査時に卒業見込で，出願時に卒業済の場合は，最終の成績証明書を提出してください。
5	学 士 の 学 位 証 明 書 等	出願資格の(2)(22 ページ) に該当する者のみ提出 大学改革支援・学位授与機構（または大学評価・学位授与機構）により，学士の学位を授与された者（見込みの者）は，学位授与（見込）証明書を提出してください。
6	教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	出願資格の(8)(22 ページ(注 2)参照)に該当する者のみ提出してください。
7	志 望 理 由 書	本学ホームページ（ http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html ）から所定の用紙をダウンロードしてください。 ・ 化学生物環境学専攻（生物科学コース及び環境科学コース）の志願者は提出してください。 ・ 化学生物環境学専攻化学コースの志願者で 2 月実施の試験に出願する者のみ提出してください。（7 月実施の試験に出願する者は不要です。） ・ 化学生物環境学専攻生物科学コースの志願者は文章のみで図表は不可とします。
8	卒 業 研 究 概 要	本学ホームページ（ http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html ）から所定の用紙をダウンロードしてください。 ・ 化学生物環境学専攻化学コースの志願者で 2 月実施の試験に出願する者のみ提出してください。（7 月実施の試験に出願する者は不要です。）
9	TOEFL 受験者用控えスコア票又 は TOEIC（デジタル）公式認定証 （化学生物環境学専攻志願者のみ）	・ 化学生物環境学専攻志願者のみ提出してください。 ・ TOEFL の場合は受験者用控えスコア票（Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report）の原本とコピーを，TOEIC（Listening & Reading）の場合は公式認定証（Official Score Certificate）の原本とコピー又はデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を A 4 判で印刷したものを提出してください。ただし，試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに原本の提出はできるが，出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り，TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合は，試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに，原本とコピーを提出してください。（原本はスコアの確認後，受験票の送付とともに返却します。） ・ 化学コースについては，TOEIC/TOEFL の受験日は出願時の過去 2 年以内とします。 ・ 生物科学コース及び環境科学コースについては，TOEIC/TOEFL の受験日は問いません。 ・ 団体特別受験制度（TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP）によるスコアの提出は認められません。※ 1 ・ スコアは最も有利と思うもの 1 つを提出してください。提出後のスコアの変更は認められません。 ・ 最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については，提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は，必ず出願前に問い合わせてください。

10	宛名票（日本国内の連絡先を記入すること）	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
11	返信用封筒（日本国内の連絡先を記入すること）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※1 令和6（2024）年度実施入試については、TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

・試験科目等

専攻	コース	試験区分	配点	試験時間	備考
数物科学専攻	数学コース	7月入試 筆記試験	300点	10:00～12:00	数学（微分・積分，線形代数，集合・位相）
		口述試験	200点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
		2月入試 口述試験	500点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
	物理学コース	7月入試 筆記試験	300点	10:00～12:00	物理（力学，電磁気学，量子力学，統計力学）
		口述試験	200点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
		2月入試 口述試験	500点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
	数物連携コース	7月入試 筆記試験	300点	10:00～12:00	上記の数学または物理から1科目を選択して受験してください。
		口述試験	200点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
		2月入試 口述試験	500点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
化学生物環境学専攻	化学コース	7月入試 筆記試験	300点	10:00～11:30	・化学の基礎問題（無機化学，有機化学，物理化学。これらの中に化学英語を含む場合がある。） ・関数機能付き電子卓上計算機（辞書機能及び数式等を記憶できるメモリー機能のないもの）の使用を認めます。英語辞書の使用は認めません。
		口述試験	50点	13:00～	
		TOEIC・TOEFL (注1)	50点		

出願書類等

化学生物環境学専攻	化学コース	2月入試	口述試験	300点	10:00～	<ul style="list-style-type: none"> 提出した書類（志望理由書及び卒業研究概要）や化学、英語に関して設問を行います。 資料の持ち込みはできません。 	
			TOEIC・TOEFL (注1)	100点			
化学生物環境学専攻	生物科学コース	7月入試・2月入試	筆記試験	150点	10:00～11:30	<ul style="list-style-type: none"> 生物科学に関わる英文の読解に基づき、生物科学に関する基礎知識や論理的思考能力、和文・英文での論述力を問います。 辞書の使用は認めません。 	
			口述試験	200点	13:00～	<ul style="list-style-type: none"> 提出した書類（志望理由書）や、専門分野に関する口述試験を行います。資料の持ち込みはできません。 	
			TOEIC・TOEFL (注1)	50点			
	環境科学コース	7月入試・2月入試	口述試験	350点	13:00～	環境科学に関する基礎的知識や論理的思考力を問います。加えて、提出した書類（志望理由書）や志望分野に関連する専門的知識について詳しく問います。	
			TOEIC・TOEFL (注1)	50点			

(注1) TOEIC のスコア換算は、換算後の成績が 50 点満点の場合には「TOEIC のスコア× 0.0505」、100 点満点の場合には「TOEIC のスコア× 0.101」の換算式を用います。

TOEFL iBT のスコア換算は、換算後の成績が 50 点満点の場合には「TOEFL iBT のスコア× 0.416 + 3.43」、100 点満点の場合には「TOEFL iBT のスコア× 0.849 + 6.61」の換算式を用います。

いずれも四捨五入により整数で換算後の成績を出します。TOEIC および TOEFL iBT スコアの主な換算例は下表のとおりです。

TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	換算後の成績	
		50 点満点	100 点満点
400	39	20	40
500	52	25	51
600	64	30	61
700	76	35	71
800	88	40	81

なお、化学生物環境学専攻において、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等であって英語能力証明書の提出を不要とする場合は、試験区分「TOEIC・TOEFL」の各入試の配点について満点として扱います。

② 社会人特別選抜

・ 出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学所定の用紙 ・ 検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で 検定料払込用紙 （本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を 検定料納付確認書 （本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm×横 3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査〔24～25 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和 4（2022）年度以降に資格審査〔24～25 ページ（注 2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	学 士 の 学 位 証 明 書	出願資格の(2)(24 ページ) に該当する者のみ提出してください。
6	教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	出願資格の(8)(24 ページ(注 1)参照)に該当する者のみ提出してください。
7	志 望 理 由 書	本学ホームページ（ http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html ）から所定の用紙をダウンロードしてください。 ・ 化学生物環境学専攻生物科学コースの志願者は文章のみで図表は不可とします。
8	TOEFL 受験者用控えスコア票又は TOEIC（デジタル）公式認定証（化学生物環境学専攻志願者のみ）	・ 化学生物環境学専攻志願者のみ提出してください。 ・ TOEFL の場合は受験者用控えスコア票（Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report）の原本とコピーを、TOEIC（Listening & Reading）の場合は公式認定証（Official Score Certificate）の原本とコピー又はデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を A 4 判で印刷したものを提出してください。ただし、試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに原本の提出はできるが、出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合は、試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに、原本とコピーを提出してください。（原本はスコアの確認後、受験票の送付とともに返却します。） ・ 化学コースについては、TOEIC/TOEFL の受験日は出願時の過去 2 年以内とします。 ・ 生物科学コース及び環境科学コースについては、TOEIC/TOEFL の受験日は問いません。 ・ 団体特別受験制度（TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP）によるスコアの提出は認められません。※ 1 ・ スコアは最も有利と思うもの 1 つを提出してください。提出後のスコアの変更は認められません。 ・ 最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に問い合わせてください。
9	宛 名 票（日本国内の連絡先を記入すること）	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
10	返信用封筒（日本国内の連絡先を記入すること）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は 7 月試験：令和 6 年 6 月 26 日、2 月試験：令和 7 年 1 月 20 日発送予定のため、予め 12 桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から 1 週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※ 1 令和 6（2024）年度実施入試については、TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

出
願
書
類
等

・試験科目等

専攻	コース		試験区分	配点	試験時間	備考
数 物 科 学 専 攻	数学コース	7月入試・2月入試	筆記試験	300点	10:00～12:00	数学（微分・積分，ベクトル・行列，集合・位相）
			口述試験	200点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
	物理学コース	7月入試・2月入試	筆記試験	300点	10:00～12:00	物理（力学，電磁気学，量子力学，統計力学）
			口述試験	200点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
	数物連携コース	7月入試・2月入試	筆記試験	300点	10:00～12:00	上記の数学または物理から1科目を選択して受験してください。
			口述試験	200点	13:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
化 学 生 物 環 境 学 専 攻	化学コース	7月入試	筆記試験	100点	10:00～11:30	・化学の基礎問題（無機化学，有機化学，物理化学。これらの中に化学英語を含む場合がある。） ・関数機能付き電子卓上計算機（辞書機能及び数式等を記憶できるメモリー機能のないもの）の使用を認めます。英語辞書の使用は認めません。
			口述試験	200点	13:00～	
			TOEIC・TOEFL (注1)	100点		
		2月入試	口述試験	300点	10:00～	・提出した書類（志望理由書）や化学，英語に関して設問を行います。 ・資料の持ち込みはできません。
			TOEIC・TOEFL (注1)	100点		

出願書類等

化 学 生 物 環 境 学 専 攻	生 物 科 学 コ ー ス	7 月 入 試 ・ 2 月 入 試	筆記試験	150点	10:00～11:30	・生物科学に関わる英文の読解に基づき、生物科学に関する基礎知識や論理的思考能力、和文・英文での論述力を問います。 ・辞書の使用は認めません。
			口述試験	200点	13:00～	・提出した書類（志望理由書）や、専門分野に関する口述試験を行います。資料の持ち込みはできません。
			TOEIC・TOEFL (注1)	50点		
	環 境 科 学 コ ー ス	7 月 入 試 ・ 2 月 入 試	口述試験	350点	13:00～	環境科学に関する基礎的知識や論理的思考力を問います。加えて、提出した書類（志望理由書）や志望分野に関連する専門的知識に関して詳しく問います。
TOEIC・TOEFL (注1)	50点					

(注1) TOEIC のスコア換算は、換算後の成績が 50 点満点の場合には「TOEIC のスコア×0.0505」、100 点満点の場合には「TOEIC のスコア×0.101」の換算式を用います。

TOEFL iBT のスコア換算は、換算後の成績が 50 点満点の場合には「TOEFL iBT のスコア×0.416 + 3.43」、100 点満点の場合には「TOEFL iBT のスコア×0.849 + 6.61」の換算式を用います。

いずれも四捨五入により整数で換算後の成績を出します。TOEIC および TOEFL iBT スコアの主な換算例は下表のとおりです。

TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	換算後の成績	
		50 点満点	100 点満点
400	39	20	40
500	52	25	51
600	64	30	61
700	76	35	71
800	88	40	81

なお、化学生物環境学専攻において、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等であって英語能力証明書の提出を不要とする場合は、試験区分「TOEIC・TOEFL」の各入試の配点について満点として扱います。

③ 外国人留学生特別選抜

・ 出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

(注) 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書には和訳又は英訳を添付してください。

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	<p>本学所定の用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料（30,000 円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 ・ なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔25～26ページ（注2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。
4	成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔25～26ページ（注2）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
5	TOEFL 受験者用控えスコア票又は TOEIC（デジタル）公式認定証（化学生物環境学専攻志願者のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学生物環境学専攻志願者のみ提出してください。 ・ TOEFL の場合は受験者用控えスコア票（Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report）の原本とコピーを、TOEIC（Listening & Reading）の場合は公式認定証（Official Score Certificate）の原本とコピー又はデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を A4 判で印刷したものを提出してください。ただし、試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに原本の提出はできるが、出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合は、試験前日（土日祝にあたる場合はその前日）までに、原本とコピーを提出してください。（原本はスコアの確認後、受験票の送付とともに返却します。） ・ 化学コースについては、TOEIC/TOEFL の受験日は出願時の過去2年以内とします。 ・ 生物科学コース及び環境科学コースについては、TOEIC/TOEFL の受験日は問いません。 ・ 団体特別受験制度（TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP）によるスコアの提出は認められません。※1 ・ スコアは最も有利と思うもの1つを提出してください。提出後のスコアの変更は認められません。 ・ 最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に問い合わせてください。
6	住 民 票 の 写 し 等 （ 省 略 不 可 ）	現在日本に在住している外国人にあっては市区町村発行の「住民票の写し（国籍・地域、在留資格、在留期間の満了の日等、記載事項の省略は不可）」を、それ以外の外国人にあってはパスポート（国籍のわかる箇所）のコピーを提出してください。
7	志 望 理 由 書	<p>本学ホームページ（http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html）から所定の用紙をダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数物科学専攻（全コース）、化学生物環境学専攻（生物科学コース及び環境科学コース）の志願者は提出してください。 ・ 化学生物環境学専攻化学コースの志願者で2月実施の試験に出願する者のみ提出してください。（7月実施の試験に出願する者は不要です。） ・ 化学生物環境学専攻生物科学コースの志願者は文章のみで図表は不可とします。
8	卒 業 研 究 概 要	<p>本学ホームページ（http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html）から所定の用紙をダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学生物環境学専攻化学コースの志願者で2月実施の試験に出願する者のみ提出してください。（7月実施の試験に出願する者は不要です。）
9	宛 名 票（日本国内の連絡先を記入すること）	<p>本学所定の用紙</p> <p>合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。</p>

10	返信用封筒（日本国内の連絡先を記入すること）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日、2月試験：令和7年1月20日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。
----	------------------------	---

※1 令和6（2024）年度実施入試については、TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

・試験科目等

専攻	コース	試験区分	配点	試験時間	備考	
数 物 科 学 専 攻	数学コース	7月入試・2月入試	筆記試験	300点	10:00～12:00	・数学（微分・積分，ベクトル・行列，集合・位相） ・学力検査で使用する言語（注2）
			口述試験	200点	13:30～	・博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。 ・学力検査で使用する言語（注2）
	物理学コース	7月入試・2月入試	筆記試験	300点	10:00～12:00	・物理（力学，電磁気学，量子力学，統計力学） ・学力検査で使用する言語（注2）
			口述試験	200点	13:30～	・博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。 ・学力検査で使用する言語（注2）
	数物連携コース	7月入試・2月入試	筆記試験	300点	10:00～12:00	・上記の数学または物理から1科目を選択して受験してください。 ・学力検査で使用する言語（注2）
			口述試験	200点	13:30～	・博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。 ・学力検査で使用する言語（注2）
化 学 生 物 環 境 学 専 攻	化学コース	7月入試	筆記試験	100点	10:00～11:30	・化学の基礎問題（無機化学，有機化学，物理化学。これらの中に化学英語を含む場合がある。） ・関数機能付き電子卓上計算機（辞書機能及び数式等を記憶できるメモリー機能のないもの）の使用を認めます。英語辞書の使用は認めません。 ・学力検査で使用する言語（注2）
			口述試験	200点	13:00～	・学力検査で使用する言語（注2）
		TOEIC・TOEFL (注1)	100点			
		2月入試	口述試験	300点	10:00～	・提出した書類（志望理由書及び卒業研究概要），化学や英語に関して設問を行います。 ・資料の持ち込みはできません。 ・学力検査で使用する言語（注2）
	TOEIC・TOEFL (注1)		100点			

出願書類等

化 学 生 物 環 境 学 専 攻	生 物 科 学 コ ー ス	7 月 入 試 ・ 2 月 入 試	筆記試験	150 点	10:00 ~ 11:30	・ 生物科学に関わる英文の読解に基づき、生物科学に関する基礎知識や論理的思考能力、和文・英文での論述力を問います。 ・ 辞書の使用は認めません。 ・ 学力検査で使用する言語（注2）
			口述試験	150 点	13:00 ~	・ 学力検査で使用する言語（注2）
			TOEIC・TOEFL (注1)	100 点		
	環 境 科 学 コ ー ス	7 月 入 試 ・ 2 月 入 試	口述試験	350 点	13:00 ~	・ 環境科学に関する基礎的知識や論理的思考力を問います。加えて、提出した書類（志望理由書）や志望分野に関連する専門的知識に関して詳しく問います。 ・ 学力検査で使用する言語（注2）
TOEIC・TOEFL (注1)	50 点					

(注1) TOEIC のスコア換算は、換算後の成績が 50 点満点の場合には「TOEIC のスコア× 0.0505」、100 点満点の場合には「TOEIC のスコア× 0.101」の換算式を用います。

TOEFL iBT のスコア換算は、換算後の成績が 50 点満点の場合には「TOEFL iBT のスコア× 0.416 + 3.43」、100 点満点の場合には「TOEFL iBT のスコア× 0.849 + 6.61」の換算式を用います。

いずれも四捨五入により整数で換算後の成績を出します。TOEIC および TOEFL iBT スコアの主な換算例は下表のとおりです。

TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	換算後の成績	
		50 点満点	100 点満点
400	39	20	40
500	52	25	51
600	64	30	61
700	76	35	71
800	88	40	81

なお、化学生物環境学専攻において、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等であって英語能力証明書の提出を不要とする場合は、試験区分「TOEIC・TOEFL」の各入試の配点について満点として扱います。

(注2) 入学志願票の「学力検査で使用する言語」欄で希望する言語に「○」をしてください。

- ④ 推薦選抜（数物科学専攻全コース及び化学生物環境学専攻全コースが7月試験時に実施します。なお、令和6年10月入学については、化学生物環境学専攻化学コースのみ、令和7年4月入学については、数物科学専攻全コース及び化学生物環境学専攻全コースが実施します。）

・出願書類（別に指定のあるもの以外は、必ず原本を提出する必要があります。）

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	本学所定の用紙
2	検 定 料 納 付 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	<p>本学所定の用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料（30,000円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（本学所定の用紙）により、納付してください。納付後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納付確認書（本学所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 ・ なお、納付手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	推 薦 書	<p>【数物科学専攻全コース志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書式自由（本学の用紙を使用する場合は、本学ホームページ（http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html）からダウンロードしてください。） ・ 奈良女子大学理学部数物科学科に在学する者は、指導教員の推薦書（厳封したもの）を提出してください。 ・ 奈良女子大学理学部数物科学科に在学する者以外は、出身大学の指導教員、又は志願者の資質を十分理解している所属学科等の教員による推薦書（厳封したもの）を提出してください。 <p>志願者の数学又は物理学における優れた学力と研究意欲について、客観的な資料に基づき、具体的に記載してください。</p>
		<p>【化学生物環境学専攻化学コース志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学ホームページ（http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html）から所定の用紙をダウンロードしてください。 ・ 出身大学等の所属長（学長、学部長、学科長、専攻長等）による推薦書（厳封したもの）を提出してください。 <p>指導教員による推薦書は認めません。</p> <p>なお、出願資格(9)及び(10)〔27ページ〕に該当する者で出願資格が認められたものについては、出願資格の審査結果の送付に併せて推薦書を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者の化学の専門分野における高い学力と特に優れた資質について、客観的な基準を示し具体的に記載してください。また、志願者の人柄や活動についても特筆する優れた点を記載してください。
		<p>【化学生物環境学専攻生物科学コース志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学ホームページ（http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html）から所定の用紙をダウンロードしてください。 ・ 志願者の資質を十分理解している指導教員等による推薦書。志願者の資質について、研究能力及び英語の学力を中心に記載し、厳封したものを提出してください。
		<p>【化学生物環境学専攻環境科学コース志願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学ホームページ（http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html）から所定の用紙をダウンロードしてください。 ・ 志願者の資質を十分理解している指導教員又は志願者の指導的立場にある研究機関の研究者（民間企業等の研究開発部門に所属する研究者を含む。）により、志願者の資質について、研究能力及び英語の学力を中心に記載したもの ・ 厳封したもの
4	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学等が発行したもの ・ 令和4（2022）年度以降に資格審査〔27～28ページ（注3）（注4）参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込証明書を提出し、出願時に卒業済の場合は、卒業証明書を提出してください。

出
願
書
類
等

出 願 書 類		備 考
5	成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学等が発行したもの ・令和4(2022)年度以降に資格審査〔27～28ページ(注3)(注4)参照〕により出願資格を認められた者は不要です。ただし、資格審査時に卒業見込で、出願時に卒業済の場合は、最終の成績証明書を提出してください。
6	学 士 の 学 位 証 明 書 等	出願資格の(2)(27ページ)に該当する者のみ提出 大学改革支援・学位授与機構(または大学評価・学位授与機構)により、学士の学位を授与された者(見込みの者)は、学位授与(見込)証明書を提出してください。
7	教育職員免許状授与証明書	出願資格の(8)(27ページ(注2)参照)に該当する者のみ提出してください。
8	志 望 理 由 書	本学ホームページ(http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html)から所定の用紙をダウンロードしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・数物科学専攻(全コース)、化学生物環境学専攻(生物科学コース及び環境科学コース)の志願者は提出してください。 ・化学生物環境学専攻化学コース志願者は不要です。 ・化学生物環境学専攻生物科学コースの志願者は文章のみで図表は不可とします。
9	研 究 希 望 調 書	本学ホームページ(http://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/inzenki.html)から所定の用紙をダウンロードしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・化学生物環境学専攻化学コース志願者のみ提出してください。 ・数物科学専攻(全コース)、化学生物環境学専攻(生物科学コース及び環境科学コース)の志願者は不要です。
10	TOEFL 受験者用控えスコア票又は TOEIC (デジタル) 公式認定証 (該 当 者 の み)	<ul style="list-style-type: none"> ・化学生物環境学専攻化学コース志願者のみ提出してください。 ・TOEFL の場合は受験者用控えスコア票 (Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report) の原本とコピーを、TOEIC (Listening & Reading) の場合は公式認定証 (Official Score Certificate) の原本とコピー又はデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を A4 判で印刷したものを提出してください。ただし、試験前日 (土日祝にあたる場合はその前日) までに原本の提出はできるが、出願期間に原本の提出が間に合わない場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合は、試験前日 (土日祝にあたる場合はその前日) までに、原本とコピーを提出してください。(原本はスコアの確認後、受験票の送付とともに返却します。) ・TOEIC/TOEFL の受験日は出願時の過去2年以内とします。(提出後のスコアの変更は認められません。) ・団体特別受験制度 (TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP) によるスコアの提出は認められません。※1 ・スコアは最も有利と思うもの1つを提出してください。 ・最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に問い合わせてください。
11	宛 名 票 (日 本 国 内 の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と)	本学所定の用紙 合格者への合格通知書発送等に使用します。確実に郵便物が受け取れる住所を記入してください。
12	返信用封筒 (日 本 国 内 の 連 絡 先 を 記 入 す る こ と)	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして郵送してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は7月試験：令和6年6月26日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

※1 令和6(2024)年度実施入試については、TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。

・試験科目等

専攻	試験区分	配点	試験時間	備考
数物科学専攻 全コース	口述試験	500点	9:30～	博士前期課程で学習，研究する上で必要となる基本的事項や志望専門分野に関する基礎的知識等について質疑応答を行います。
化学生物環境学専攻 化学コース	口述試験	300点	9:30～	志望理由や提出した「研究希望調書」の内容について行います。
	TOEIC・TOEFL (注1)	100点		
化学生物環境学専攻 生物科学コース	口述試験	400点	13:00～	・提出した書類（志望理由書）や，専門分野に関する口述試験を行います。資料の持ち込みはできません。
化学生物環境学専攻 環境科学コース	口述試験	400点	9:00～	・提出した志望理由書を基に，研究内容に関して10分程度の発表を行った後に，質疑応答を行います。 ・液晶プロジェクターを使用することもできます。

(注1) TOEICのスコア換算は、「TOEICのスコア×0.101」の換算式を用います。TOEFL iBTのスコア換算は、「TOEFL iBTのスコア×0.849+6.61」の換算式を用います。

いずれも四捨五入により整数で換算後の成績を出します。TOEICおよびTOEFL iBTスコアの主な換算例は下表のとおりです。

TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	換算後の成績
		100点満点
400	39	40
500	52	51
600	64	61
700	76	71
800	88	81

なお，化学生物環境学専攻において，最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等であって英語能力証明書の提出を不要とする場合は，試験区分「TOEIC・TOEFL」の各入試の配点について満点として扱います。

VI 博士前期課程各専攻の担当教員等

【人文社会学専攻】

担当教員	主な担当科目等	担当教員	主な担当科目等
歴史学コース		社会学コース	
村上 麻佑子	日本古代史	小川 伸彦	文化社会学
前田 英之	日本中世史	三部 倫子	ジェンダー社会学
田中 希生	日本近現代史	寺岡 伸悟	観光社会学
西村 さとみ	日本文化史	林 拓也	計量社会学
矢島 洋一	東洋史	水垣 源太郎	地域社会学
木村 容子	西洋史		
宮路 淳子	考古学		
佐藤 有希子	日本美術史		
地理学コース			
吉田 容子	都市社会地理学		
石崎 研二	地域分析		
西村 雄一郎	行動地理学		
浅田 晴久	アジア地域研究		

【言語文化学専攻】

担当教員	主な担当科目等	担当教員	主な担当科目等
日本アジア言語文化学コース		ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース	
鈴木 広光	国語学	吉村 あき子*	英語学・言語学
尾山 慎		須賀 あゆみ	
奥村 和美	上代国文学	市川 千恵子	イギリス言語文化論
児島 啓祐	中古中世国文学	齊藤 美和	アメリカ言語文化論
磯部 敦	近世近代国文学	竹本 憲昭	
吉川 仁子	近代現代国文学	中川 千帆	ドイツ言語文化論
野村 鮎子*	中国文学	吉田 孝夫	
大平 幸代		中国語学	児玉 麻美
前田 真砂美		高岡 尚子	
		森田 俊吾	

【人間科学専攻】

担当教員	主な担当科目等	担当教員	主な担当科目等
教育学・人間学コース		心理学コース	
柳澤 有吾	哲学・倫理学	中山 満子	社会心理学
二井 仁美	教育史	天ヶ瀬 正博	認知心理学
鈴木 康史	身体文化学	竹橋 洋毅	教育心理学
藤井 康之	音楽教育学	狗巻 修司	臨床発達心理学
保田 卓	教育社会学	町田 奈緒士	ジェンダー心理学
小野寺 香	比較教育学		

(令和6年4月現在)

※ 令和7年3月退職予定者

【食物栄養学専攻／心身健康学専攻／情報衣環境学専攻／住環境学専攻／生活文化学専攻】

① 入学志願票の「志望研究領域」欄の記入について

「志望研究領域」欄については、同一専攻内（心身健康学専攻及び情報衣環境学専攻志望者は同一コース内）において第2志望まで選択することができます。（ただし、情報衣環境学専攻衣環境学コース及び生活文化学専攻については第1志望のみを選択する。）

第1志望のみ希望する者は、専攻（またはコース）に係わる研究領域のうちから、「志望研究領域」を1つ、第2志望まで希望する者は、同一専攻（またはコース）内の「志望研究領域」を2つ選び入学志願票に記入してください。

志望専攻・コース	入学志願票に記入する志望研究領域	担当教員	関連の授業科目
食物栄養学専攻	調理科学	松田 覚*	食医化学
	生体安全学	高村 仁知	調理機能論, 食品情報解析論
	栄養化学	小倉 裕範	食安全学特論
	公衆栄養学	中田 理恵子	栄養生化学特論, 代謝調節機構論
	食品衛生・微生物学	菊崎 泰枝*	食品機能管理学特論
心身健康学専攻	生活健康学コース	高地 リベカ	栄養疫学特論
	女性健康学	前田 純夫	環境応答機構論
	人間行動生理学	鷹股 亮	環境生理論
	自律神経生理学	横山 ちひろ	心身医学特論
	脳機能形態学	吉本 光佐	食と自律神経学特論
	食環境論	高浪 景子	行動神経科学
	環境人間工学	西牧 未央	食健康管理学
	身体表現学	鍵本 明里	生活光環境学
	スポーツ科学コース	成瀬 九美	身体表現学特論
	バイオメカニクス	藤原 素子**2	バイオメカニクス特論
	スポーツ生理学	星野 聡子	スポーツ生理学特論
	スポーツ社会学	石坂 友司	スポーツ社会学特論
	スポーツ心理学	浅野 友之	スポーツ行動心理学特論
	スポーツ法学	平塚 卓也	スポーツ法学特論
臨床心理学コース	教育臨床心理学	伊藤 美奈子**2	学校臨床心理学特論
	犯罪心理学	岡本 英生	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
	乳幼児心理臨床	黒川 嘉子	心理療法特論
	認知行動療法	梅垣 佑介	学習心理学特論
	心理臨床学	加藤 奈奈子	家族心理学特論
人格心理学	時岡 良太	発達心理学特論	
情報衣環境学専攻	衣環境学コース	原田 雅史	アパレル洗淨論
	生活情報通信科学コース	松本 尚	コンピュータアーキテクチャ特論
	音声・言語・コミュニケーション(令和7年4月入学試験のみ選択可)	須藤 克仁**3	大規模言語モデル特論
	社会脳情報学(令和7年4月入学試験のみ選択可)	水原 啓暁**3	ソーシャルシステム特論
	連続体の計算論	鴨 浩靖	計算理論特論
	知能エージェント論	新出 尚之	知的エージェント特論
	最適化アルゴリズム	高田 雅美	アルゴリズム特論
ソフトウェア工学(令和7年4月入学試験のみ選択可)	藤原 賢二**3	ソフトウェア工学特論	
住環境学専攻	住環境工学	吉田 伸治	建築環境論Ⅰ, Ⅱ
	景観デザイン学	許 載永	景観設計論
	住居管理学	根本 哲夫	景観設計論
	生活空間計画学	藤平 真紀子	住環境管理論
	住生活学	山本 直彦	生活空間計画論
	住環境デザイン学	室崎 千重	住居論
	建築史学	加藤 亜矢子	住環境デザイン論
生活文化学専攻	木質構造学	坂井 禎介	住環境史論
	社会心理学	角田 功太郎	建築構造デザイン論
	家族社会学	安藤 香織	比較人間関係論
	表象文化論	澤田 佳世	家族社会学
	消費者法	山崎 明子	表象文化論
	比較歴史学	鈴木 則子*	生活史論
	消費経済学	大塚 浩	消費者法制度論
アントレプレナーシップ論	林田 敏子	比較歴史学	
	青木 美紗	消費経済学	
	安橋 正人	アントレプレナーシップ論	

(令和6年4月現在)

- * 令和7年3月退職予定者
- **2 令和8年3月退職予定者
- **3 令和7年4月担当予定

担当教員等

② 「専門科目」の受験について

志望専攻・コース		専門科目
食物栄養学専攻		食物栄養学
学心 身健 専健 攻康	生活健康学コース	生活健康学
	スポーツ科学コース	スポーツ科学
	臨床心理学コース	臨床心理学
境情 報学 専衣 攻環	衣環境学コース	アパレル洗浄学
	生活情報通信科学コース	生活情報通信科学
住環境学専攻		住環境工学, 景観デザイン学, 住居管理学, 生活空間計画学, 住生活学, 住環境デザイン学, 建築史学, 木質構造学
生活文化学専攻		社会心理学, 家族社会学, 表象文化論, 消費者法, 比較歴史学, 消費経済学, アントレプレナーシップ論

◎志望専攻・コースごとの受験すべき試験科目について

○ 食物栄養学専攻の志望者

専門科目の「食物栄養学」※を受験すること。

※「食物栄養学」は、食物栄養学の各分野（生化学、栄養化学、調理科学、生体安全学、食品衛生・微生物学、公衆栄養学）から出題されます。この中から2分野を選択して解答してください。なお、必ずしも志望研究領域にかかわる分野の問題を含む必要はありません。

○ 心身健康学専攻生活健康学コースの志望者

専門科目の「生活健康学」※を受験すること。

※「生活健康学」は、女性健康学、自律神経生理学、被服生理学、人間行動生理学、食環境論、環境人間工学の各分野から問題が出題されます。出題された問題から2分野を選択して解答してください。なお、志望領域に関係する分野の問題を選択しなければならない訳ではありません。

○ 心身健康学専攻スポーツ科学コース及び臨床心理学コースの志望者

それぞれ、専門科目の「スポーツ科学」、「臨床心理学」を受験すること。

○ 情報衣環境学専攻衣環境学コース及び生活情報通信科学コースの志望者

それぞれ、専門科目の「アパレル洗浄学」、「生活情報通信科学」を受験すること。

○ 住環境学専攻の志望者

〈第1志望のみ希望する場合〉

「専門科目（第1志望の研究領域のもの）1科目」と「残りの専門科目から1科目（選択自由）」計2科目を受験時に選択して、受験すること。

〈第2志望まで希望する場合〉

「専門科目（第1志望の研究領域のもの）1科目」と「専門科目（第2志望の研究領域のもの）1科目」計2科目を受験すること。

○ 生活文化学専攻の志望者

「専門科目（第1志望の研究領域のもの）1科目」を受験すること。

【数物科学専攻（数学コース／物理学コース／数物連携コース）】

◎入学志願票の「志望する教育研究分野の記号」欄の記入について

数物科学専攻の推薦選抜志願者（7月のみ）は、第1志望のみ記入してください。

数物科学専攻のそれ以外の志願者は、第1志望に加えて、希望があれば同一コース内で第2志望まで記入してください。

〈数学コース〉

教育研究分野	記号	研究内容	担当教員
幾何学・トポロジー	A-1	位相的グラフ理論とその応用	稲場道明 梅垣由美子 岡崎武生 片桐民陽 篠田正人 張娟姫 嶽村智子 松澤淳一 [※] 村井紘子 森藤紳哉 柳沢卓 ^{※2}
位相幾何学・折り紙	A-2	折り紙の位相幾何学的観点からの研究	
結び目理論	A-3	結び目理論及びそれに関連する三次元多様体の研究	
複素解析・p-進解析	A-4	Modular 多様体と保型形式	
代数学・幾何学	A-5	代数幾何学及び群の表現論	
数論	A-6	ゼータ関数やL関数に関する研究	
確率論	A-7	統計力学に関わる確率モデルの研究	
確率過程論	A-8	確率過程の極限定理に関する研究	
函数解析学	A-9	函数空間とその基底, 函数のフーリエ展開と作用素論	
非線型解析学	A-10	流体力学に現れる非線型問題の研究	

(令和6年4月現在)

※ 令和7年3月退職予定者

※2 令和8年3月退職予定者

担当教員等

〈物理学コース〉

教育研究分野	記号	研究内容	担当教員
素粒子論	B-1	素粒子物理学・宇宙物理学の理論的研究	高橋智彦 大木洋
ハドロン物理学	B-2	ハドロン物理学の理論的研究	永廣秀子
原子核理論	B-3	原子核物理学の理論的研究	比連崎 悟
非平衡ダイナミクス	B-4	ソフトマターの変形・破壊に関する研究 アクティブマターに関する研究	狐崎 創子 下川 倫子
凝縮系の物理学	B-5	擬一次元電子系の理論的研究 凝縮系における多体相関効果の理論的研究	吉岡英生 土射津昌久
高エネルギー物理学	B-6	素粒子及びその相互作用の実験的研究	宮林謙吉 下村真弥 蜂谷 崇
宇宙物理学	B-7	高エネルギー天体現象の観測的研究	山内茂雄
観測的宇宙論	B-8	宇宙の構造形成の観測的研究と宇宙論への応用	太田直美
放射線物理学	B-9	放射線と物質の相互作用及び原子衝突に関する実験的研究	石井邦和 熊谷嘉晃
金属物性物理学	B-10	金属間化合物及び無機化合物の合成と結晶構造に関する研究 合金材料の諸物性及び土壤中の磁性鉱物に関する実験的研究	山本一樹 松岡由貴

(令和6年4月現在)

〈数物連携コース〉

教育研究分野	記号	研究内容	担当教員
ゲーム情報学	C-1	数理ゲームを題材とする確率的最適化の研究	篠田正人
群と離散幾何学		幾何学的構造の対称性の研究	松澤 淳一 [※]
トポロジーと折り紙	C-2	低次元トポロジーの研究及びトポロジー的な手法による折り紙の数理的研究	村井 絃子
凝縮系の物理学	D-1	メゾスコピック系の量子伝導現象の理論的研究 結晶の対称性と電子状態に関する理論的研究	吉岡英生 土射津昌久
非平衡ダイナミクス	D-2	パターン形成の数理に関する研究	狐崎 創子 下川 倫子

(令和6年4月現在)

※ 令和7年3月退職予定者

【化学生物環境学専攻（化学コース／生物科学コース／環境科学コース）】

◎入学志願票の「志望する教育研究分野の記号」欄の記入について

化学生物環境学専攻の化学コース推薦選抜志願者及び環境科学コース志願者は第1志望のみ記入し、生物科学コース志願者は第2志望まで必ず記入してください。

推薦選抜以外の化学コース志願者は第4志望まで必ず記入してください。ただし、第2～4志望はアルファベット（E・F・G）のみ記入し数字（枝番）は記入しないでください。

〈化学コース〉

教育研究分野	記号	研究内容	担当教員
物理化学	E-1	分子シミュレーションの手法による分子集団・分子集合体の物性の先験的解明及び物性設計	衣川 健一
	E-2	計算科学的手法による複雑多分子系の構造・反応機構の解明及び新しい理論計算法の開発	太田 靖人
	E-3a	界面活性剤、両親媒性高分子、金属ナノ粒子などソフトマターの分子集合体に関する研究	吉村 倫一
	E-3b	イオン液体や両親媒性物質を用いたソフト界面の物性と構造解析に関する研究	河合里 紗
有機化学	F-1	高性能な遷移金属錯体触媒の設計と合成、環境に調和した新しい有機合成反応の開発	片岡 靖隆
	F-2a	環境調和を指向した新しい有機遷移金属錯体の合成、反応性と触媒機能に関する研究	浦 康之
	F-2b	核酸の高次構造を標的とした機能性有機金属化合物の創製研究	佐々木 捷悟
	F-3	生体分子のホモキラリティーの起源、及び有機金属錯体のキラリティー、反応性に関する研究	松本 有正
無機化学	G-1	ナノサイズの新規金属錯体の設計・合成と固体状態における物性制御に関する研究	梶原 孝志
		磁性金属錯体の設計・合成とスピンドYNAMIXSに関する研究	堀井 洋司*
	G-2	金属蛋白質の設計と光機能発現	高島 弘
	G-3a	有機金属クラスターを用いた新しい機能・反応の開発と金属クラスター超分子化学の開拓	中島 隆行
	G-3b	高活性な触媒反応の開発を指向した新規配位子の設計と合成	岩井 健人
	G-4a	金属イオン含有タンパク質・酵素の機能発現の分子機構の解明とそれに基づく機能変換	藤井 浩
	G-4b	金属イオンを含む酵素の反応機構の解明とその知見を利用した高機能型変異酵素の創製	本田 裕樹

(令和6年4月現在)

* 令和7年3月退職予定者

担当教員等

〈生物科学コース〉

教育研究分野	記号	研究内容	担当教員
分子細胞生物学	I-1	生体膜の構造と機能に関する分子・細胞生物学的研究	鍵和田 聡
	I-2	菌類の染色体構造に関する分子生物学的研究	岩口 伸一
	I-3	原生生物繊毛虫の環境応答, 特に有性生殖に関する研究	杉浦 真由美
	I-4	藻類を用いた形態形成運動・細胞分化・多細胞化の分子生物学的研究	西井 一郎
	I-5	光合成細菌・藻類・植物を用いたレドックス応答と生理機能の調節に関する研究	清水 隆之
個体機能生物学	J-1	松果体における情報処理・伝達機構に関する研究	川野 絵美
	J-2	高等植物の環境応答, 特に光合成・呼吸の環境応答と細胞小器官の増殖・分化に関する研究	酒井 敦
	J-3	環境や内的因子による植物の発達や細胞機能の調節に関する研究	奈良 久美
	J-4	逃避行動を最適化する原型回路の分子・神経機序に関する研究	堀 沙耶香
	J-5	発生期の哺乳動物大脳を対象に細胞の形態・動態から脳形成原理を探る研究	岡本 麻友美
生態学	K-1	淡水・海洋生物の生態と行動に関する研究	遊佐 陽一
	K-2	陸水生態系における生物多様性の維持機構に関する研究	片野 泉
		群集および生態系レベルにおける生物多様性の構造・変動・保全に関する研究	佐藤 宏明*
	K-3	顕花植物の繁殖生態およびその進化, 特に生物間相互作用や資源利用特性に関する研究	井田 崇

(令和6年4月現在)

※ 令和7年3月退職予定者

〈環境科学コース〉

教育研究分野	記号	研究内容	担当教員
地球環境科学	L-1	気象観測データ解析による大気環境の研究	久慈 誠
	L-2	人工衛星や探査機による観測データを用いた地球惑星大気科学	野口 克行
	L-3	衛星データ解析による陸域リモートセンシングの手法と環境変動に関する研究	村松 加奈子
数理生命システム	M-1	生態系の個体群動態と進化の数理モデルを用いた研究	高橋 智
	M-2	生物集団の構造及び進化に関する数理的な研究	高須 夫悟
	M-3	数理的手法による生物と物理化学的環境の相互作用に関する理論研究	瀬戸 蘭美
環境化学	N-1	環境負荷低減を目指した新規界面活性剤の開発とナノ粒子を用いた有害物質除去に関する研究	吉村 倫一
生物環境学	O-1	高等植物と環境との関わり、特に光合成・呼吸の環境応答と他感作用に関する研究	酒井 敦
	O-2	環境による植物の生長制御の仕組みとストレス耐性に関する研究	奈良 久美
	O-3	淡水・海洋生物の生態・保全・防除に関する発展的研究	遊佐 陽一
	O-4	淡水域の環境-生物相互作用、生物多様性維持機構に関する応用生態学的研究	片野 泉
		昆虫を対象とした、分類と生活史形質に関する研究ならびに生態遺伝学的研究	佐藤 宏明*
	O-5	生物と環境の相互作用に関する研究	井田 崇

(令和6年4月現在)

※ 令和7年3月退職予定者

担当教員等